NTT docomo

F-01C

取扱説明書　'10.10

docomo PRIME series

ドコモ　W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN 方式

このたびは、「docomo PRIME series F-01C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

F-01Cをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

F-01Cの操作説明について

F-01Cの操作は、本書のほかに、「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

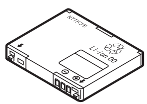
種類	内容
「取扱説明書（本書）」	画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明（Qは「使いかたガイド」の索引用語）
「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）	よく使われる機能の概要や操作について説明 F-01Cの待受画面から［MENU］▶［6］便利ツール▶［#］使いかたガイド▶検索方法を選択
「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）	すべての機能の詳しい案内や操作について説明 〈パソコンから〉　ドコモのホームページでダウンロード http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html ※本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- この『F-01C取扱説明書』の本文中においては、「F-01C」を「FOMA端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書には、きせかえツールを「White」、カラーテーマ設定を「ホワイト」に設定した画面を掲載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作（⇒P37）または指紋認証（⇒P39）を行う操作を表しています。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

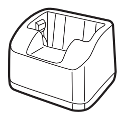
本体付属品について

F-01C
（リアカバー F53、保証書含む）

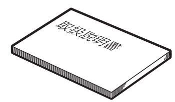
電池パック F18



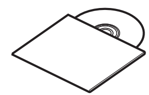
卓上ホルダ F30



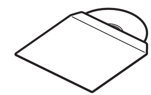
取扱説明書（本書）



F-01C用 CD-ROM



電子辞書データ DVD F02



卓上ホルダ F30はお客様から回収させていただいた製品のABS樹脂をリサイクルして製造しております。

※「取扱説明書（詳細版）」はドコモのホームページよりご覧ください。

対応しているオプション品について⇒P86

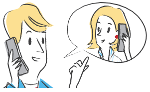
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目　次

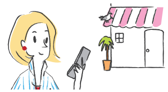
はじめに

基本の操作

つながる



しらべる



たのしむ

より便利に

その他

FOMA端末について

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.、Go Daddy, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.

F-01Cでできること

iコンシェル　70

執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。

使いかたガイド　29

手元に取扱説明書がなくても、使いたい機能の操作方法をFOMA端末ですぐに調べることができます。機能一覧から検索したりキーワードを入力したりすることにより、機能の概要や操作方法が表示され、さらにその機能を起動することもできます。

オートGPS　60

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。また、お客様の居場所や移動した距離などを利用するゲームもご利用いただけます。

音声クイック起動　29

利用したい機能を話しかけるだけで、機能を起動させることができます。使いたい機能がメニューのどこにあるのかわからないときや、すぐに起動させたいときに便利です。

防水／防塵性能　18

外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX8（IPX7を上回る規格）の防水性能およびIP5Xの防塵性能を有しています。

高機能カメラ　61

ベストショットセレクトやぼかし強調モードのほか、デジタルカメラ並みの高機能を数多く備えた約1320万画素（有効画素数）のカメラを搭載しています。フルHD対応の動画撮影は、スーパーサラウンドマイクによって臨場感あふれる音声やズーム連動の録音ができます。

本格電子辞書搭載　72

サーチキーによる複数辞書の一括検索や手書き入力に対応した電子辞書機能を搭載しています。プリインストールされている辞書以外にも、パソコンを使って付属の電子辞書データDVD F02に収録された多彩な辞書をmicroSDカードにコピーできます。

Wi-Fi　74

IEEE802.11b（最大11Mbps）、IEEE802.11g（最大54Mbps）の無線LAN規格に準拠しており、クライアントモードでは公衆無線LANエリアで快適なデータ通信が可能です。アクセスポイントモードでは、FOMA圏内であればどこでもFOMA端末とWi-Fi対応機器を接続して、対戦ゲームやホームページの閲覧ができます。

各部の名称と機能

F-01Cの各部の名称とそれぞれに割り当てられている代表的な機能を紹介します。押す長さによって異なる機能が動作するキーがあります。機能利用の際は、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」などでご確認ください。

❶受話口

❷光センサー

※周囲の明るさを感知し、画面の明るさを自動調整します。ふさぐと正しく調整されない場合があります。

❸ディスプレイ（タッチパネル）⇒P26、28

❹マイク（送話口）

※通話中や録音中はふさがないでください。（背面は、通常スタイルのとき騒音カット用、ビューアスタイルのとき音声通話用）

❺MENU MENUキー

メニューの表示

❻ メール／文字キー

メールメニューの表示、文字入力モードの切り替え

❼CLR ch／クリアキー

ｉチャネルの表示、前画面に戻る操作

❽ 音声電話開始キー

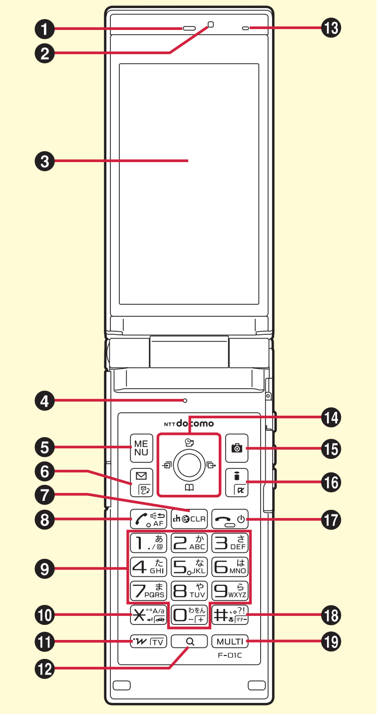
音声電話の開始、ハンズフリーの通話切り替え、音声クイック起動の実行

❾0～9ダイヤルキー

電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択

❿ ＊／公共モード（ドライブモード）キー

「＊」や濁点・半濁点の入力、公共モード（ドライブモード）の起動／解除



⓫ ｉウィジェット／TVキー

ｉウィジェットの起動／終了、ワンセグ視聴

⓬ サーチキー

クイック検索／音声クイック検索の起動

⓭温度・湿度センサー

※ふさいだり、FOMA端末を閉じたりすると感知できない場合があります。温度・湿度の表示はあくまでも目安です。

⓮ マルチカーソルキー

カーソルの移動、メニュー操作

- ：操作の実行
- ：スケジュールの表示、音量調整
- ：電話帳の表示、音量調整
- ：着信履歴の表示
- ：リダイヤルの表示

※機能により8方向操作が可能です。

⓯ カメラキー

静止画撮影の起動

⓰ ｉモード／ｉアプリキー

ｉMenu、ｉアプリフォルダの表示

⓱ 電源／終了キー

電源のオン／オフ、操作中の機能の終了

⓲ #／マナーモードキー

「#」や句読点の入力、マナーモードの起動／解除

⓳MULTI マルチタスクキー

通話中や操作中に別機能の実行、プライバシービューの起動／解除

⑳ **充電ランプ**

㉑ **背面ディスプレイ**

㉒ **ランプ**

電話の着信やメールの受信時など、さまざまな状態を点灯・点滅でお知らせ

㉓ **FOMAアンテナ部（本体内蔵）**

※ よりよい条件で通話するために、手で覆わないでください。

㉔ **背面マイク**

動画撮影、ボイスレコーダー用マイク

※ 動作中はふさがないでください。

㉕ **指紋センサー**

指紋の登録と認証操作

㉖ **カメラ**

静止画／動画の撮影、テレビ電話での映像の送信

㉗ **スピーカー**

着信音、ハンズフリー機能利用中に相手の声を聞く

㉘ **赤外線ポート**

赤外線通信、赤外線リモコン機能

㉙ **マーク**

おサイフケータイの利用、iC通信によるデータの送受信

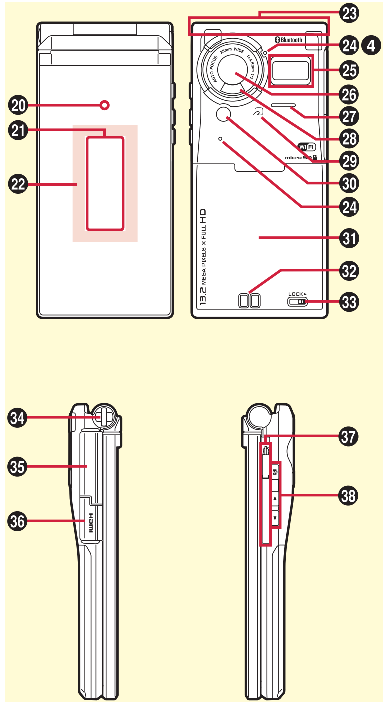
㉚ **ライト／撮影お知らせランプ**

カメラのライト

㉛ **リアカバー**

※ リアカバーと電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。

㉜ **充電端子**



㉝ **リアカバーのレバー**

※ 水濡れや粉塵の侵入を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けて、レバーでロックした状態でお使いください。

㉞ **ストラップ取付口**

㉟ **外部接続端子**

別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付USB接続ケーブル02、ステレオイヤホンマイク 01などの接続

㊱ **HDMI接続端子（type D）**

㊲ **ワンセグアンテナ**

※ 視聴時は電波を十分に受信できるように伸ばしてください。

㊳ **サイドカメラキー**

動画撮影の起動、ワンセグ視聴中のビデオ録画

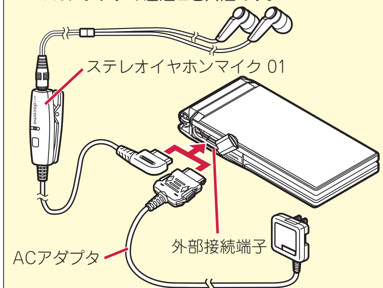
▲▼サイド上下キー

音量調整

▲は伝言メモ／音声メモの起動、着信音・アラーム音・バイブレータの停止、▼はメール／メッセージ問合せなど

外部接続端子用
ステレオイヤホンマイク 01（別売）接続例

※ ACアダプタの差込口と共通です。

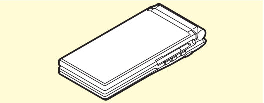


利用スタイル

本FOMA端末はキー操作とタッチ操作で機能を利用できます。

閉じた状態

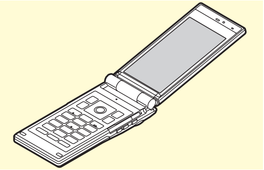
背面ディスプレイから不在着信や未読メール情報、ウォーキング／Exカウンターやｉチャネルなどの情報を得ます。何も表示されていないときにサイドキーを押すと、照明が点灯します。



通常スタイル

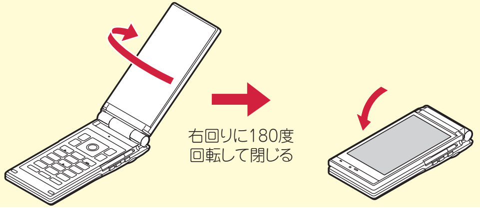
キー操作とタッチ操作に対応しています。

※お互いの映像を見ながらテレビ電話をするには、ディスプレイを180度回転させ、カメラを自分側に向けます。



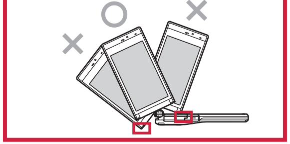
ビューアスタイル

ディスプレイを外側に向けた状態で、タッチ操作に対応しています。



Point

- ビューアスタイルにするときに指を挟まないようご注意ください。
- ディスプレイを右に180度以上、左に90度以上回転させないでください。
- ディスプレイの回転時や閉じる際にディスプレイの角が本体（キーがある面）などに当たらないようにしてください。



- ストラップを挟んだまま、FOMA端末を閉じたりビューアスタイルにしたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- FOMA端末の開閉や回転時は、誤操作防止のためタッチパネルに指を触れないようにしてください。
- ビューアスタイルのときはディスプレイ面を下向きにしたまま机の上などに置かないでください。ディスプレイの表面に傷がつく恐れがあります。
- FOMA端末を持ち運ぶ場合、閉じているときは、サイドキーの誤操作防止のためHOLDを起動し、ビューアスタイルのときは、タッチパネルの誤操作防止や電池の消費節約のため自動キーロックの画面オフロックをかけてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止
火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止
電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止
水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水についてはこちらをご参照ください。
⇒P18

指示
FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止
強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示
ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示
使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止
ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止
湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示
FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止 **FOMA端末が破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止 **モーショントラッキングやモーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。**
けがなどの事故の原因となります。

禁止 **誤ってディスプレイを破損し、液晶など内部の物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶など内部の物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。⇒「材質一覧(P13)」**

指示 **FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。**
けがなどの事故の原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。**
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止 **端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **火の中に投下しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
失明の原因となります。

⚠警告

禁止 **落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示 **電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
指示
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
禁止
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
指示
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
禁止
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
禁止
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
禁止
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
禁止
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
禁止
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
禁止
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
禁止
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
濡れ手禁止
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
指示
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
指示
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
電源プラグを抜く
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜く
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
電源プラグを抜く
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱い

⚠注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
指示
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
指示
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
指示
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
指示
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
指示
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	可動部ディスプレイ面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	可動部 背面	アクリル樹脂	UVハードコート
	固定部 操作キー面	PA-GF樹脂	UVハードコート
	固定部 電池面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバーロックレバー	POM樹脂	なし
	リアカバー内面ロックプレート	ステンレス鋼	なし
	リアカバープレート（本体）	ステンレス鋼	なし
	リアカバープレート（ガスケット）	シリコーンゴム（VMQ）	なし
メインディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム
カメラレンズ部	カメラパネル	アクリル樹脂	UVハードコート
	カメラリング	ABS樹脂	クロムメッキ
ライトレンズ部		PC樹脂	なし
サイドキー	ボリュームキー	PC樹脂	UVハードコート
	カメラキー	ABS樹脂	クロムメッキ
操作キー		PC樹脂	UVハードコート
外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップ	本体、止水部	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂（TPE）	なし
	Oリング	合成ゴム（EPDM）	なし
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂	なし
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
操作キー周囲の化粧シート		PET樹脂	UVハードコート
ケースパッド		ポリエチレン樹脂	なし
ヒンジパッド		エラストマー樹脂（TPEE）	なし
ワンセグアンテナ	上段	PC+ABS樹脂	塗装
	中段	ステンレス鋼	なし
	下段	ステンレス鋼	なし
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
ネジ（ヒンジ回転部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ
電池端子	電池端子コネクター本体	PPS樹脂	なし
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ（下地Ni-Pdメッキ）
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
指紋センサー		フレキシブルプリント基板	なし
ドコモUIMカードトレイ		POM樹脂	なし

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **F-01Cは防水／防塵性能を有していますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。

- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

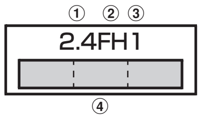
ドコモUIMカードについてのお願い

- **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。

- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- **FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、ダイヤルアップ、データ転送、シリアルポート、画像転送、ヘルスデバイスを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。**
- **周波数帯について**
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

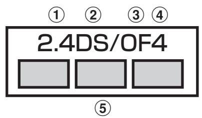
Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。

④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ □□□：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

FMトランスミッタについて

- **FOMA端末のFMトランスミッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は77.4～85.0MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ使用者への影響を避けるため、ご使用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。**

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FMトランスミッタは日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFMトランスミッタは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水／防塵性能

F-01Cは、外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態で、IPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2の規格を上回るIPX8※3の防水性能、IP5X（JIS保護等級5）※4の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの所にF-01Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IPX8とは、IPX7の規格を上回る防水性能を有することです。

※4 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

F-01Cは次のIPX8の防水性能を有しています。
- 常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-01Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有する。
- 常温で水道水、かつ静水の中に沈めている約30分間は静止画／動画撮影ができる。

✜ F-01Cが有する防水／防塵性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます。**
  - 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **水深1.5mのプールの中で静止画／動画撮影ができます。**
  - 水中で静止画／動画撮影以外の操作を行わないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、所定の方法（⇒P20）で洗い流してください。
- **お風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。

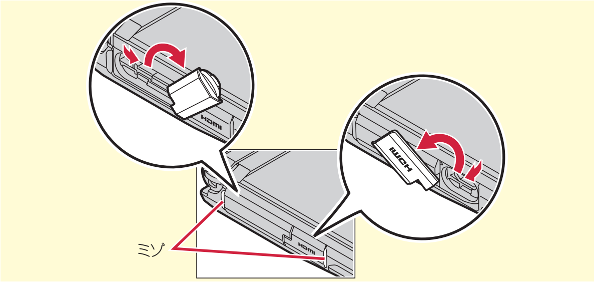
防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

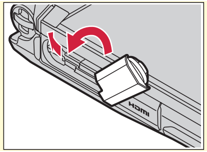
- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップは、次の方法で開け閉めしてください。

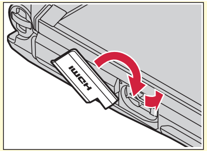
  〈外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップの開けかた〉

  ミゾに指を掛けて開け、矢印のように回してください。



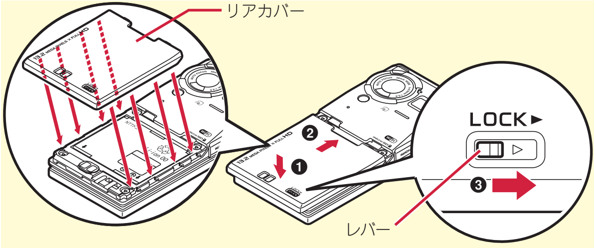
〈外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップの閉じかた〉
外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップは矢印のように回して閉め、FOMA端末との間にすき間が生じないようにしっかりと押して閉じてください。さらに、キャップが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。





- リアカバーの取り付けは、次の方法で行ってください。

〈リアカバーの取り付けかた〉
リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを❸の方向にスライドさせてロックします。



※ リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。また、リアカバーのレバーを刻印されている矢印の方向にスライドさせ、しっかりとロックされた状態であることを確認してから使用してください。

- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

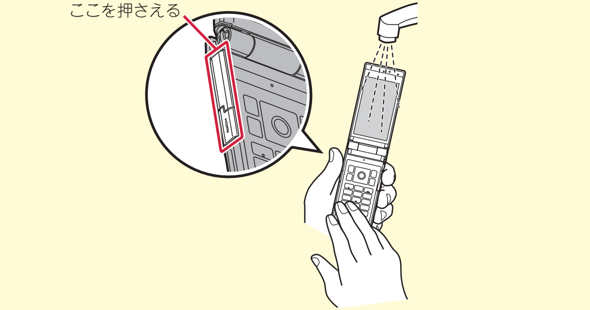
また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（⇒P18）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-01CはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- FOMA端末を開いた状態で水中を移動したり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- 温度・湿度センサーに水滴を残さないでください。温度と湿度が正常に測定できないおそれがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップまたはHDMI接続端子キャップ、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

FOMA端末の洗いかた

外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず水道水で手洗いしてください。



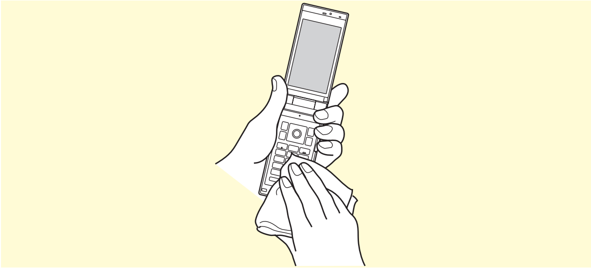
- 規定（⇒P18）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。

- リアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップ、HDMI接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず常温の水道水で手洗いしてください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着している場合は、開閉回転操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

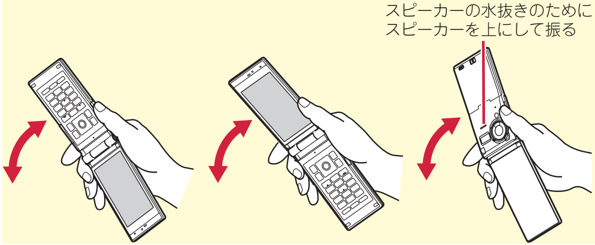
水抜きについて

FOMA端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

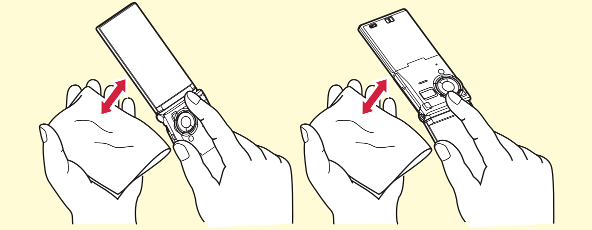
① FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



② FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



③ マイク、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取ってください。



④ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

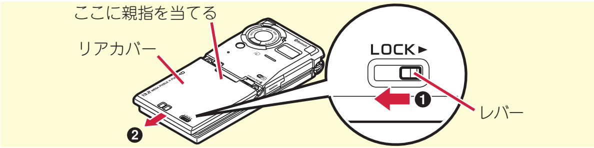
- 充電時は、FOMA端末が濡れていないか確認してください。FOMA端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- FOMA端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ドコモUIMカード／電池パックの取り付け

取り付けは電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って正しく行ってください。

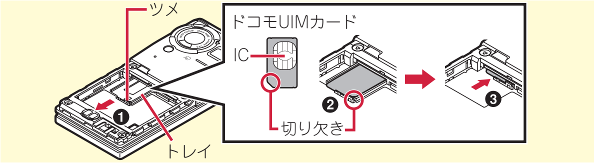
✤ リアカバーの取り外し

レバーを❶の方向にスライドさせてロックを外し、親指でリアカバーを押しながら（リアカバーがスライドしにくい場合は、両手でFOMA端末を持ち両方の親指で押しながら）❷の方向に約2mmスライドさせて外す。



✤ ドコモUIMカードの取り付け

ツメに指をかけ「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す（❶）。IC面を下にし、切り欠きの向きを合わせてドコモUIMカードをトレイにセットし（❷）、トレイを奥まで押し込む（❸）。

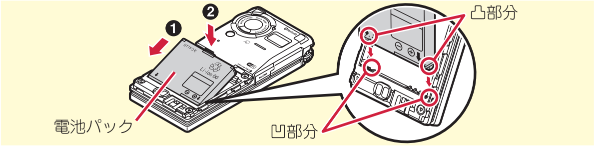


Point

- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

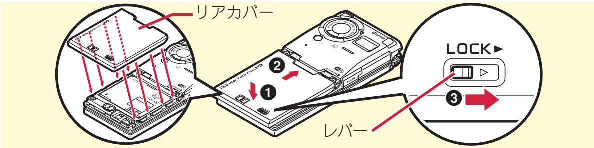
✤ 電池パックの取り付け

電池パックのラベル面を上にし、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む



✤ リアカバーの取り付け

リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末との間にすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける。最後にレバーを❸の方向にスライドさせてロックする。



Point

- 水濡れや粉塵の侵入を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてレバーでロックしてください。
- リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。
必ず専用のACアダプタで充電してからお使いください。

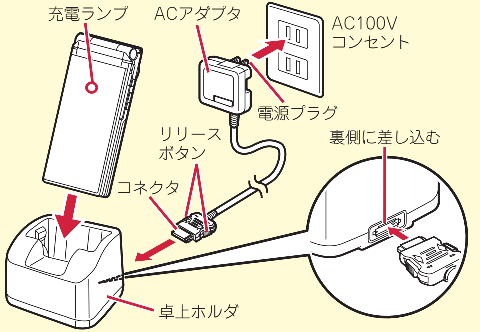
卓上ホルダと組み合わせた充電

1 ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして付属の卓上ホルダへ水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

3 FOMA端末を閉じた状態で、卓上ホルダに差し込む

※ 充電ランプが点灯したことを確認してください。



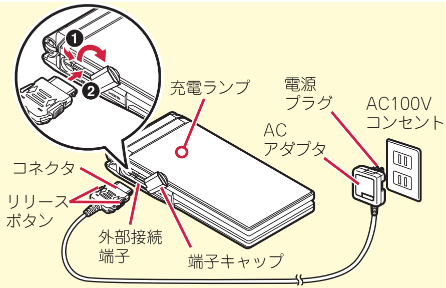
4 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す

ACアダプタによる充電

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）

2 電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

※ 充電ランプが点灯したことを確認してください。



3 充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

✤ 充電中の動作

充電が始まると開始音が鳴ります。充電中は充電ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると完了音が鳴ります。

電源を入れる～初期設定

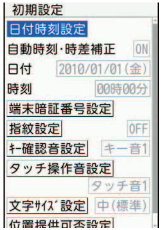
初期設定は初めてFOMA端末の電源を入れたときに行う操作です。

1 **[━]（2秒以上）**

右の画面が表示されます。

2 **各項目を設定▶[📷]［終了］**

端末暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。設定せずに終了すると、次に電源を入れたときに再び初期設定画面が表示されます。



〈初期設定画面〉

3 **ソフトウェア更新機能の確認画面で[●]**

待受画面が表示されます。

続いて、マチキャラが名前（ユーザ名称）を聞いてきたときは、[●]を2回押すとユーザ名称が入力できます。

Point

- 何も操作しないでいると、画面オフ時間設定やecoモード設定に従って自動的にディスプレイが消灯します。何らかの操作や電話の着信などによって、ディスプレイは再び点灯します。
- FOMA端末使用中は自動的に電池の使用状況が記録されます。この記録は故障修理の際の診断でのみ利用するものです。

電源を切る：[━]（2秒以上）

初期設定の変更：[MENU]▶[8][9][2]

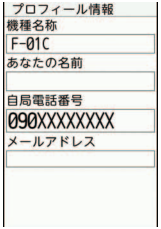
プロフィールの確認

機種名称や自分の電話番号を確認します。

メールアドレスの確認／変更方法については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 **[MENU]▶[0]プロフィール**

右の画面が表示されます。



〈プロフィール情報画面〉

Point

プロフィールを編集：プロフィール情報画面で[📷]▶認証操作▶各項目を設定▶[📷]

通話中などに電話番号を確認：[MULTI]▶[0]

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。ここでは主なマークを紹介します。

■ディスプレイ上部

電池残量（電池アイコン）

多い ⟷ ほとんどない（充電が必要）

電波受信レベル（アンテナアイコン）

強 ⟷ 弱	圏外
強 ⟷ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- ：セルフモード中
- ：データ転送モード中
- ：ｉモード接続中
- ：Wi-Fi接続中
- ：Wi-Fiモードオンで圏外
- ：自動キーロック中
- ：赤外線通信中
- ：Bluetoothオン
- ：積算通話料金が上限を超過
- ：ハンズフリー対応機器で通信中
- ：ハンズフリー ON
- ：フェムトセル利用可能
- ：ecoモード中
- ：タッチ操作OFF
- ：GPS測位中
- ：位置提供設定中
- ：未読エリアメールあり
- ：未読ｉモードメールあり
- ：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
- ：ｉモードセンターに未受信のｉモードメールあり
- ：電話帳、メモ・スケジュールがシークレット属性
- ：SSL／TLSページ表示中など
- ：圏内自動送信メールあり
- ：Music&Videoチャネル番組取得予約あり
- ：ワンタッチアラーム設定が「ON」
- ：親子モード設定中
- ：ｉアプリ動作中
- ：ｉアプリコール受信あり
- ：アラーム設定中
- ：ワンセグ視聴／録画予約中、メモのアラーム設定中
- ：OFFICEEDエリア内
- ：マナーモード中
- ：電話着信音量消音設定中
- ：音声電話着信バイブレータ設定中
- ：公共モード（ドライブモード）中
- ：マナーサポート動作中
- ：伝言メモ設定中
- ：ダイヤル発信制限中
- ：GPS位置提供失敗
- ：パーソナルデータロック中
- ：Music&Videoチャネル取得失敗
- ：ドコモUIMカード読み込み中
- ：ICカードロック中
- ：有効マルチカーソルキー
- ：FOMA端末にワンセグ録画中
- ：ｉアプリ自動起動失敗
- ：通信モード中にmicroSDカードあり
- ：USBケーブルで外部機器と接続中
- ：ウォーキング／Exカウンター設定中
- ：ソフトウェア更新書き換え予告
- ：最新パターンデータ自動更新失敗

■ディスプレイ下部

新着情報アイコン（左から、不在着信、伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、未読メール、未読トルカ、ｉアプリコール）

メニュー操作

待受画面でMENUを押し、メニューから機能を実行します。ダイヤルキーや✱、#でメニューを選択するショートカット操作と、カーソル移動で行うマルチカーソル操作があります。

〈例〉「電卓」を選択する

ショートカット操作

1 MENU ▶ 6 ▶ 2

マルチカーソル操作

1 MENU ▶「6 便利ツール」にカーソル ▶ ● [決定] ▶「2 電卓」にカーソル ▶ ● [決定]

Point

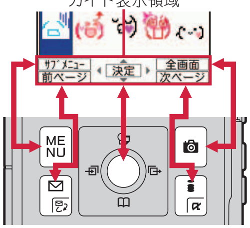
- 機能起動中も、ガイド表示領域に「サブメニュー」と表示されている場合は同様に操作します。
- 1つ前の画面に戻すにはCLRを押します。待受画面に戻すには⏎を押します。

ガイド表示領域とキー操作

ガイド表示領域には、MENU、✉、●、📷、iαを押して実行できる操作が表示されます。

ガイド表示領域の◆は、マルチカーソルキーの✥に対応しています。

ガイド表示領域



待受ランチャーとフォーカスモード

待受画面には常に待受ランチャーが表示され、アイコンを選択することでメニュー表示、電話、メール、クイック検索が起動できます。カーソルの移動、待受画面のタッチ、待受ランチャーのスライドによって待受ランチャーが広がり、待受ショートカットを利用することもできます。

ステータス表示領域を選択し、ステータスメニューを表示

待受カスタマイズを設定し、新着アイコンのある待受画面

待受ランチャーの全表示

新着情報やｉコンシェルのインフォメーションが表示されているとき、カレンダー／待受カスタマイズを設定しているときは、待受画面で●を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

Point

- フォーカスモード中は、MENUを押してもメニューを表示できません。

タッチパネルの使いかた

ディスプレイに指で直接触れて操作します。

タッチパネル利用上のご注意

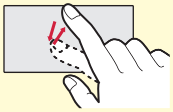
- FOMA端末の開閉や回転時に無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの故障や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先が尖ったものを押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - 濡れた手による操作
  - 水中での操作
- ディスプレイの周囲の枠部分を強く押さないでください。タッチパネルが誤動作することがあります。

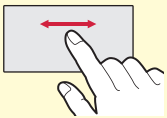
Point

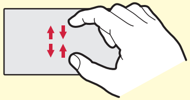
- 操作場面や機能によってタッチ操作の有効範囲が異なったり、タッチ操作が無効になる場合があります。

タッチの基本操作

タッチ	画面を軽く1回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主にメニューや項目の選択などで使用します。
タッチ（1秒以上）	画面を1秒以上触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。
スライド	画面に軽く触れたまま、上下左右のいずれかの方向に動かします。画面のスクロール、手書き文字の入力などで使用します。
すばやくスライド	画面に軽く触れた後、上下左右のいずれかの方向にすばやく指をはらいます。ページや表示画像の切り替え、チャプターや曲の移動などで使用します。
ピンチ	2本の指で画面に触れたまま、2本の指の間隔を広げたり、狭くしたりします。主に画面表示の拡大／縮小で使用します。


例：タッチ


例：スライド


例：ピンチ

Information

- タッチ操作を無効にすることができます。【タッチON／OFF設定】

音声クイック起動

利用したい機能のメニューがわからないときや機能をすばやく起動したいときには、待受画面から音声で機能を呼び出すことができます。

1 [✓]（1秒以上）

初めて利用するときは案内画面で「利用する」を選択するか、[📷]を押してください。2回目からは「それではどうぞ　★★音声受付中★★」と表示されます。

2 **マイクに向かって10秒以内に機能名を発声**

再入力を促すメッセージが表示された場合は、[●]を押して発声します。

音声が認識されると機能が起動します。機能が特定できないときには、使いかたガイドのキーワードの一覧が表示されます。

Point

- はっきりと、自然な会話の速度で話してください。
- ご利用になる環境や話しかたによって認識結果が異なる場合があります。
- 機能名（電卓、ワンセグ、など）、キーワード（計算、テレビ、アドレス交換、など）、キーワードの組み合わせ（写真　見る、メール問合せ、スケジュール　4月25日、○○さん※にメール、など）を発声して起動できます。
  ※ 電話帳に登録されている名前
- マチキャラを設定していないときと音声出力対応のマチキャラを設定しているときには、質問が読み上げられます。操作2で[MENU]を押すと、ON（スピーカー）／ON（受話口）／OFFの切り替えができます。

使いかたガイド

機能の概要や操作方法、困ったときの対処方法を調べることができます。

1 **[MENU]▶[6]便利ツール▶[#]使いかたガイド▶検索方法を選択**

目次： 機能の一覧から選択して調べます。

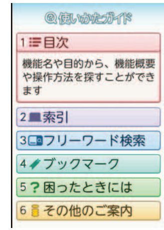
索引： 50音順の用語一覧から選択して調べます。

フリーワード検索： 探したいキーワードを入力して調べます。

ブックマーク： ブックマークに登録した一覧から調べます。

困ったときには： トラブルの現象やエラーメッセージから調べます。

その他のご案内： 便利なサイトを案内するページに接続します。



〈使いかたガイド画面〉

Point

- 説明画面では、「この機能を使う」を選択して機能を実行できます。「関連機能」内のリンク項目や「→コチラ」を選択すると、関連する機能の説明画面が表示されます。
- 本書内の【🔍】で示した用語は、「使いかたガイド」の索引用語です。

文字入力

FOMA端末の利用スタイルにより入力操作方法が切り替わります。

通常スタイル： キー操作による入力方法が起動します。入力画面のサブメニュー「入力設定」から「かな入力」「2タッチ入力」「手書き文字入力」の切り替えができます。

ビューアスタイル： タッチ操作による入力方法が起動します。入力画面の［入力切替］をタッチするとタッチキー入力とタッチQWERTYキー入力が切り替わり、［文字/あ］を1秒以上タッチするか［手書き］をタッチすると手書き文字入力へ切り替わります。

入力方法の違い

キー操作による文字入力

	①かな入力	②2タッチ入力
概要	1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すことで文字を切り替えて入力	2つのキーを組み合わせて押すことで1つの文字を入力
入力例	「ろ」：9を5回 「っ」：4を3回▶＊ 「ぽ」：6を5回▶＊を2回 「ん」：0を3回 「ぎ」：2を2回▶＊	「ろ」：9 5 「っ」：8 0 4 3 「ぽ」：8 0 6 5 0 5 「ん」：0 3 「ぎ」：2 2 0 4
入力中操作	［↙］：1つ前の文字に戻す（例：お⇒え⇒う⇒…）	－
	CLR：文字の削除 ＊：濁点・半濁点の付加や大文字／小文字の切り替え	

タッチ操作による文字入力

	①手書き文字入力	②タッチキー入力
概要	手書き入力エリアに、指で文字を書いて入力 	タッチ操作で文字を選択して入力
入力方法	〈例〉 入力エリアに「六」「本」「木」と順に書く	行の先頭文字は直接タッチ。それ以外は、先頭文字を1秒以上触れたまま扇状の入力ガイドへスライドして選択（先頭文字から、入力ガイド方向へすばやくスライドしても選択可能）
入力中操作	［クリア］：認識文字を削除 ［閉じる］：別候補文字選択画面の表示終了 ［訂正］：文字の書き直し	［クリア］：文字の削除 ［゛゜大/小↵］：濁点・半濁点の付加や大文字／小文字の切り替え

③タッチQWERTYキー入力

パソコンのキーボードのように、読みに対応するローマ字の綴りどおりにアルファベットを押すことで文字を入力します。文字の変換や修正操作は、かな入力と同じです。

入力モードの切り替え

入力方式により、入力モードの切り替えかたが異なります。

かな入力方式・2タッチ入力方式・タッチキー入力

文字入力画面で[✉]を押すか［文字/あ］をタッチして入力モード切替パレットを表示させ、「ひらがな／漢字」「カタカナ」「英字」「数字」などの種類を選択して切り替えます。

タッチQWERTYキー入力

［文字/あ］をタッチするたびに入力モードが「ひらがな／漢字」⇒「英字」⇒「カタカナ」⇒「ひらがな／漢字」…と入力モードが切り替わります。

文字入力設定

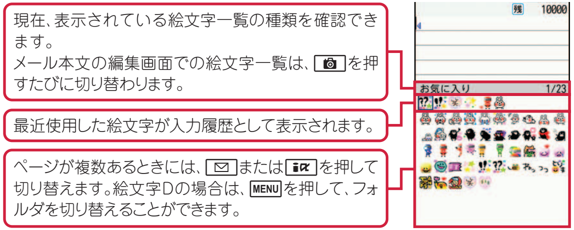
文字入力の入力方式や、入力時の動作を設定します。

1 **[MENU]▶[8]本体設定▶[4]文字表示／入力▶[3]文字入力設定▶[1]文字入力▶各項目を設定▶[📷]［登録］**

絵文字・顔文字の入力

絵文字の入力

1 **文字入力画面で［絵・記号］が表示されているときに[📷]［絵・記号］**



2 **絵文字を選択**

[CLR]を押すと、絵文字一覧は閉じます。

メール本文の編集画面での顔文字の入力

1 **文字入力画面で[MENU]［サブメニュー］▶[5]定型文・データ引用▶[0]絵文字・記号・顔文字▶[3]顔文字▶顔文字種別を選択▶顔文字を選択**

その他の文字入力画面での顔文字入力：[MENU]▶[5][3]▶顔文字種別を選択▶顔文字を選択

Information

- よく使う文章や単語を登録することができます。【文字入力▷定型文｜単語登録】
- 入力した文字をコピーしたり、切り取ったり、貼り付けたりすることができます。【文字入力▷コピー｜切り取り｜貼り付け】
- ユーザ名やパスワードなどの認証情報を登録することができます。【パスワードマネージャー】

音の設定

着信音を変更したり、音量を調整したり、FOMA端末から出る音を消したり、音に関する設定を行います。

着信音設定

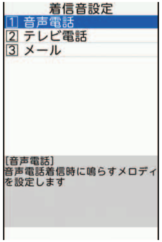
好きなメロディなどを着信音やアラーム音に設定することができます。

〈例〉音声電話着信音の設定

1 **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 2 音／バイブ／マナー ▶ 1 着信音設定**

音声電話着信音のほかにも、テレビ電話、メール、メッセージR/F、SMS着信音を設定することができます。

2 **1 音声電話 ▶ 1 電話着信音 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］**



〈着信音設定画面〉

Point

- 音声電話着信音を設定すると、電話着信設定にも反映されます。
- ミュージックや動画／ｉモーションによっては、着信音に設定できない場合があります。

音量設定

着信音やアラーム音などの音量を設定します。

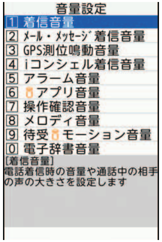
〈例〉電話着信音量の設定

1 **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 2 音／バイブ／マナー ▶ 3 音量設定**

電話着信音量のほかにも、メール・メッセージ着信音やｉコンシェル着信音などの音量を設定することができます。

2 **1 着信音量 ▶ 1 電話着信音量 ▶ [操作キー] or ▲▼ ▶ ●［決定］**

音量は「Silent」「Level 1」～「Level 10」「Steptone」の中から選択します。



〈音量設定画面〉

Point

- 「Silent」に設定したときには、待受画面にが表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときはが表示されます。

Information

- 電話を着信したときの着信音やイメージ表示、バイブレータの動作パターン、イルミネーション、キーイルミネーションを設定できます。【電話着信設定】【テレビ電話着信設定】
- 着信やアラームを音ではなく、振動で知らせることができます。【バイブレータ設定】

マナーモード

着信音、キー確認音、タッチ操作音、開閉操作音、アラーム音、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。マナーモード中は、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

1 **[#]（1秒以上）**

マナーモード中は待受画面にが表示されます。

マナーモードの解除：[#]（1秒以上）

〈マナーモード中の待受画面〉

Point

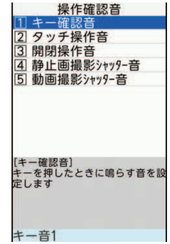
- マナーモード中でもシャッター音は鳴ります。

キー確認音を消す

キーを押したときに鳴る音を消します。

1 **[MENU]▶[8]本体設定▶[2]音／バイブ／マナー▶[2]その他音設定▶[4]操作確認音**

キー確認音のほかにも、タッチ操作音や開閉操作音を消したり、シャッター音を変更したりすることができます。



〈操作確認音設定画面〉

2 **[1]キー確認音▶[5]OFF**

キー確認音を解除する旨のメッセージが表示された後、右の画面に戻ります。

音を選ぶときは「[1]キー音1」～「[4]ドレミ」の中から選択します。

Information

- マナーモード中の動作を変更することができます。【マナーモード ▷ マナーモード選択】
- 乗り物への乗車や場所を検知して、マナーモードやメールの自動返信を設定するよう促します。【マナーサポート設定】

ディスプレイの設定

待受画面選択

お買い上げ時に設定されている待受画面は変更することができます。

〈例〉画像を設定

1 MENU▶8本体設定▶1画面・ディスプレイ▶2待受画面設定▶1待受画面選択▶1縦画面設定 or 2横画面設定▶1イメージ設定

きせかえツールが設定されているときには、解除確認画面が表示されます。

2 「はい」▶フォルダを選択▶画像にカーソル▶📷［決定］▶「はい」

表示メニュー設定

待受画面でMENUを押したときに表示されるメニューを「ノーマルメニュー（きせかえツールに依存）」、「ベーシックメニュー（メニュー構成・番号が固定）」、「セレクトメニュー（メニュー項目の変更可）」から選択します。

1 MENU▶8本体設定▶1画面・ディスプレイ▶6メニュー設定▶1表示メニュー設定▶メニューのタイプを選択

文字サイズ設定

ｉモードサイトやメール作成画面などの文字のサイズを変更することができます。

〈例〉一括して文字サイズを変更

1 MENU▶8本体設定▶4文字表示／入力▶1文字サイズ設定▶1全体▶文字サイズを選択

選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズも変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を押すと、選択した文字サイズに適したきせかえツールを選択できます。

Point

- 一括して文字サイズを変更するときに、選択した文字サイズに対応していない項目は、最も近い文字サイズに設定されます。

プライバシービュー

ディスプレイの表示を周囲の人から見えにくくします。待受画面以外を表示中でも、起動／解除ができます。

1 MULTI（1秒以上）

プライバシービューの解除：MULTI（1秒以上）

Information

- 待受画面の時計や温度・湿度計の表示／非表示を設定したり、デザインなどを変更したりできます。【時計表示設定】【温度・湿度センサー設定】
- 待受画面をいくつかのエリアに分割して、それぞれのエリアに新着情報やスケジュール、カレンダー、メモ、歩数・活動量情報を表示するように設定できます。【待受画面設定▷カレンダー／待受カスタマイズ】
- プライバシービューでは見えにくさのレベルを設定することができます。【プライバシービュー▷レベル設定】

ランプの設定

マチキャラ設定

待受画面に表示されるキャラクタを設定します。

1 MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 1 画面・ディスプレイ ▶ 5 マチキャラ設定 ▶ 1 表示設定 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］

Point

- ｉアプリ待受画面を設定している場合や待受画面に設定した動画／ｉモーションの再生中は、マチキャラは表示されません。
- 設定を行ったときの確認メッセージをマチキャラ独自の話しかたで表現したり、FOMA端末の状態や入力文字の内容に合わせてメッセージを表示したりするフレンドリーメッセージ対応のマチキャラも利用できます。お買い上げ時に登録されている「リーフロボット」「ドロンジョ様」「バカボンのパパ」がフレンドリーメッセージに対応しています。
  ©Tatsunoko,YTV 2008 designed by DEVILROBOTS
  ©赤塚不二夫／ぴえろ

照明点灯時間設定

ディスプレイを明るく点灯させる時間を設定します。

〈例〉「通常時」を設定

1 MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 3 照明・イルミネーション ▶ 1 照明設定 ▶ 1 照明点灯時間設定

2 1 通常時 ▶ 1 0秒～ 7 常時点灯

Point

- 操作2で「通常時」以外を選択して「端末設定に従う」にすると、「通常時」で設定した点灯時間に従います。

Information

- ディスプレイの表示を消すまでの時間設定や、ディスプレイの照明の明るさ調整ができます。【照明設定▷画面オフ時間設定｜明るさ調整】

イルミネーション設定

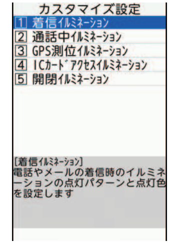
着信時や通話中などに点灯するランプの動作を設定します。

〈例〉着信時のイルミネーションを設定

1 MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 3 照明・イルミネーション ▶ 2 イルミネーション設定 ▶ 2 カスタマイズ設定

着信時のほかにも、通話中やFOMA端末を開閉したときなどのイルミネーションの設定ができます。

2 1 着信イルミネーション ▶ 各項目を設定 ▶ 📷［登録］



〈カスタマイズ設定画面〉

不在着信お知らせ

FOMA端末を閉じているときに不在着信や未読メール（ｉモードメール、SMS）があると、ランプでお知らせします。

1 MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 1 画面・ディスプレイ ▶ 4 各種画面設定 ▶ 4 着信表示設定 ▶ 2 不在着信お知らせ ▶ 1 ON or 2 OFF

Point

- ランプは約10秒間隔で点灯しますが、新着情報を確認せずにFOMA端末を閉じた場合などは、約30分間隔で点滅します。

Information

- 着信時、メール送信時、データ送受信時などに点灯するキーイルミネーションを設定できます。【キーイルミネーション設定】

きせかえツール

待受画像、メニュー、発着信画像などをコーディネイトされた組み合わせで一括して設定します。お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたきせかえツールがあらかじめ設定されています。

〈例〉お買い上げ時に登録されているきせかえツールを設定

1 **MENU▶5データBOX▶7きせかえツール▶3プリインストール**
右の画面が表示されます。
きせかえツールを選択するときせかえツールの詳細内容が表示され、「プレビュー」を選択するとコーディネイトのイメージが表示されます。

〈きせかえツール一覧画面〉

2 **きせかえツールにカーソル▶📷［一括設定］▶「はい」**

Information

- 【スペシャルモード】にすると、新しいきせかえツールが1つ追加されます。
- 時間や場所でマナーモードやメール自動返信の設定を変更したり、指定した時間に画面デザインやプライバシーモードの設定を変更したりします。【ライフスタイル設定】

ecoモード

一時的にディスプレイの照明や音などを調整して、電池の消費を抑えます。

1 **MENU▶8本体設定▶7電池▶1ecoモード設定▶1ecoモードON／OFF**
選択するたびにON／OFFが切り替わります。ONにすると、ディスプレイにが表示されます。

ecoモード動作設定

ecoモードをONにしたときの動作を設定します。

1 **MENU▶8本体設定▶7電池▶1ecoモード設定▶2ecoモード動作設定▶1標準省電力 or 2フル省電力**
標準省電力：操作確認音、イルミネーション、不在着信お知らせ、画面オフ時間、画面の明るさ、ワンセグecoモードなどの設定を変更して、電池の消費を抑えます。
フル省電力：標準省電力の動作に加え、タッチ操作、モーションセンサー、温度・湿度センサー、画面オフロックの置き忘れセンサー、オートGPS、ウォーキング／Exカウンターなどの使用を制限して、電池の消費を抑えます。

基本の操作

FOMA端末の暗証番号

機能によって異なる暗証番号を使います。暗証番号は個人情報を守る、大切なものです。取扱いには十分ご注意ください。

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。万が一他人に知られ悪用された場合でも、その損害について当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

端末暗証番号 （お買い上げ時：0000）

設定変更時やデータの全件削除時に、端末の使用者がその機能を使うことを了解するために使う番号です。次の操作で変更できます。

1. **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 6 ロック・セキュリティ ▶ 3 セキュリティ設定 ▶ 1 端末暗証番号設定 ▶ 認証操作**
2. **新しい端末暗証番号を入力 ▶ 新しい端末暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力 ▶ 📷［登録］**

Point

- 端末暗証番号入力画面で誤った番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

PIN1コード／PIN2コード （ご契約時：0000）

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
PIN1コードは、ドコモUIMカードを取り付けたり、FOMA端末の電源を入れたりする際、使用者確認のために使います。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使います。
いずれも次の操作で変更できます。PIN1コードを変更するときは、PIN1入力ON／OFF切替を「ON」にする必要があります。

1 MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 6 ロック・セキュリティ ▶ 9 UIMカード（FOMAカード）設定 ▶ 1 PIN1コード変更 or 2 PIN2コード変更 ▶ 認証操作

2 現在のPINコードを入力 ▶ 新しいPINコード欄と新しいPINコード（確認）欄に新しいPINコードを入力 ▶ 📷［登録］

Point

- 電源を入れたときにPIN1コード入力画面を表示させるようにするには、MENU ▶ 8 6 9 3 1 でPIN1入力ON／OFF切替を「ON」にします。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの場合には、それらの操作はできなくなります。
- PIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えてロックされたときには、契約時に通知されたPIN ロック解除コードを入力します。PIN ロック解除コードの入力を連続10回間違えてドコモUIMカードがロックされた場合には、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

✤ ネットワーク暗証番号 （ご契約時：任意の番号を設定）

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要となる番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」⇒「ネットワーク暗証番号変更」から変更できます。

✤ ｉモードパスワード （ご契約時：0000）

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスの申し込み／解約などの際に必要な番号です。
ｉモードサイトの「ｉMenu」⇒「お客様サポート」⇒「各種設定（確認・変更・利用）」⇒「ｉモードパスワード変更」で変更できます。

✤ microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の携帯電話に取り付けて使用する場合は、その携帯電話にパスワード認証が必要になります。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話では、microSDカード内のデータを利用したり、初期化したりすることができません。
ただし、microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

Information

- 一部の機能の利用を制限して、本FOMA端末をお子さま用として利用することができます。【親子モード】

指紋認証機能

端末暗証番号を入力する代わりに、指紋センサーに指をスライドさせて認証を行います。指紋登録後は、認証操作が必要なときに指紋認証画面が表示されるようになります。
認証に利用する指紋は最大10件登録できます。

1 **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 6 ロック・セキュリティ ▶ 3 セキュリティ設定 ▶ 2 指紋登録 ▶ 認証操作**

2 **「OK」▶ メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド**

3 **登録名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶ [カメラ] ［登録］**

〈指紋登録画面〉

Point

- 指紋認証画面でMENUまたはダイヤルキーを押すと（タッチ操作の場合は［暗証番号］をタッチ）、端末暗証番号入力画面に切り替わります。

Information

- 認証操作を指紋のみで行うように設定することができます。【指紋のみ認証設定】
  お客様の指の状態や指紋センサーの故障などにより、認証操作ができなくなった場合には、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口まで持参いただく必要があります。

各種ロック機能

さまざまなロック機能を目的に応じて使い分けてください。

オールロック

メニュー操作ができなくなり、利用できるのは電話の応答、メールの受信、電源のON/OFFなど一部の操作に限られます。
起動：MENU ▶ 8 6 1 2 ▶ 認証操作
解除：端末暗証番号を入力（指紋認証設定中はMENU ▶ 認証操作）

セルフモード

通信を伴うすべての機能が使えなくなります。
起動／解除：MENU ▶ 8 9 1 ▶ 1 or 2 ▶「はい」

パーソナルデータロック

電話帳やメール、スケジュールなどの個人情報が表示されないようになるほか、メニュー操作が制限されます。
起動／解除：MENU ▶ 8 6 1 3 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できなくなります。
起動／解除：MENU ▶ 8 6 1 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

HOLD

持ち歩く際の誤動作を防ぐため、FOMA端末を閉じているときのサイドキー操作を無効にします。
起動／解除：MENU（1秒以上）

自動キーロック

クローズロック設定

FOMA端末を閉じるたびにタッチ操作やキー操作をロックします。

設定： MENU ▶ 8 6 1 1 1 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

一時解除： FOMA端末を開いて認証操作

画面オフロック設定

画面オフの状態から設定時間内に無操作だった場合に、タッチ操作やキー操作をロックします。

設定： MENU ▶ 8 6 1 1 2 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷

一時解除： いずれかのキーを押してディスプレイを点灯 ▶ MENU ▶ 認証操作

タッチパネルロック

ビューアスタイルでディスプレイの表示を消して（画面オフ）タッチ操作をロックします。

起動／解除： ビューアスタイルで📷

タッチロック

発信中や通話中は、誤操作を防止するために自動的にタッチロックが起動します。

起動／解除： 発信中や通話中画面で📷（1秒以上）

ICカードロック

おサイフケータイや読み取り機からのトルカ取得、iC通信などが使えなくなります。

起動： 📷（1秒以上）▶「はい」

解除： 📷（1秒以上）▶ 認証操作

おまかせロック

FOMA端末紛失時などにドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけます。

■ おまかせロックの設定／解除

0120-524-360　受付時間　24時間（年中無休）

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック　基本編』をご覧ください。

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末内の端末データをドコモのお預かりセンターにバックアップして、紛失時や誤って削除した際などにそのデータを復元できるサービスです。

- 海外でケータイデータお預かりサービスをご利用の際は、パケット通信料が日本国内より高額になる恐れがありますのでご注意ください。（iモードパケット定額サービスの対象外となります。）
- ケータイデータお預かりサービスの詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。

Information

- 個人情報の利用時に認証操作が必要になるように設定したり、特定の電話帳やメモ・スケジュール、着信、送受信メールなどを非表示に設定したりできます。【プライバシーモード】

電話の着信制限

電話の着信を制限するさまざまな方法があります。

電話番号ごとの着信許可／拒否

電話帳ごとの設定をした後、着信許可／拒否設定（メモリ別着信拒否／許可）を有効にする必要があります。
本機能を利用するときには、番号通知お願いサービスおよび着信拒否設定を併用することをおすすめします。

1 ▶電話帳検索▶設定する電話帳にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶3編集／設定▶4詳細設定▶3着信許可／拒否設定▶認証操作▶電話番号を選択▶1着信許可～3設定なし

2 続けて待受画面でMENU▶7電話機能▶4発着信・通話設定▶#メモリ着信拒否／許可▶1メモリ別着信拒否／許可▶認証操作▶1設定解除～3許可設定

着信拒否設定

電話番号が通知されない理由（非通知設定、公衆電話、通知不可能）ごとに着信動作を設定します。

1 MENU▶7電話機能▶4発着信・通話設定▶9着信拒否設定▶認証操作▶1非通知設定～3通知不可能▶各項目を設定▶［登録］

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないようにすることで、「ワン切り」などの迷惑電話対策になります。

1 MENU▶7電話機能▶4発着信・通話設定▶6着信詳細設定▶3呼出動作開始時間設定▶各項目を設定▶［登録］

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない相手からの着信を拒否します。

1 MENU▶7電話機能▶4発着信・通話設定▶#メモリ着信拒否／許可▶2メモリ登録外着信拒否▶認証操作▶1ON or 2OFF

お買い上げ時の状態に戻す

各種設定リセット

メニュー一覧に赤色の文字で書かれている機能をお買い上げ時の状態に戻します。⇒P87

1 **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 9 その他設定 ▶ 4 各種設定リセット ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ 📷［リセット］▶「はい」**

基本設定をリセットすると、ソフトウェア更新機能の確認画面が表示されます。●を押すとメニュー画面が表示されます。

データ一括削除

FOMA端末内の保存データを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 9 その他設定 ▶ 3 データ一括削除 ▶ 認証操作 ▶「はい」**

再起動中にデータが削除されます。待受画面が再表示されるまで電源を切らないでください。

Point

- データ一括削除をしても、お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- 付属の電子辞書データDVD F02からmicroSDにコピーした辞書データをFOMA端末に移動していると、データ一括削除によってお買い上げ時に登録されている辞書データ以外は削除されます。

Information

- 各種設定リセットやデータ一括削除の詳細は、本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」でご確認ください。

遠隔操作で利用を制限する

FOMA端末の機能を遠隔から制限する2つのサービスがあります。

お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online

- パソコンから
  http://www.docomo.biz/

※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

✤ 遠隔初期化

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／ドコモUIMカード内のメモリ）を初期化することができるサービスです。

✤ 遠隔カスタマイズ

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各機能（カメラ機能やロック設定など）の利用の制限や、ON／OFF設定を遠隔から行うことができるサービスです。

Point

リモート機能設定確認：MENU ▶ 8 9 6

電話／テレビ電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモの電話番号を選択したり、電話帳を利用して発信します。

電話番号を入力

同じ市内にかけるときでも必ず市外局番からダイヤルしてください。

1 電話番号を入力（80桁以内）▶ （音声電話）or （テレビ電話）▶ 通話が終わったら

機能ボタンの をタッチし、123 ▶ 電話番号 ▶ または［テレビ電話］をタッチしても発信できます。

リダイヤル／着信履歴を利用

リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件表示されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 （リダイヤル）or （着信履歴）

一覧に表示されるマークは発着信の種別を表しています。代表的なマークの意味は次のとおりです。

〈リダイヤル画面〉

〈着信履歴画面〉

：音声電話　／：不在着信／未確認不在着信

：テレビ電話　／：伝言メモ／未確認伝言メモ※

※ 伝言メモを削除すると、不在着信のマークに変わります。

2 相手にカーソル ▶ （音声電話）or （テレビ電話）

一覧で相手にカーソルを合わせて を押すと、詳細画面が表示されます。

Point

- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
- テレビ電話開始時は代替画像が送信されます。お互いの映像を見ながらテレビ電話をするには、 を押してカメラ画像に切り替え、ディスプレイを右回りに180度回転させてカメラを自分側に向けます。

電話帳を利用

1 ▶ 電話帳検索

お買い上げ時には、全件表示（50音）が表示されるように設定されています。で行の切り替えが、で前後のページの切り替えができます。

〈電話帳検索結果画面〉

2 相手にカーソル ▶ （音声電話）or （テレビ電話）

相手にカーソルを合わせて を押すと、ｉモードメールを作成できます。

Point

- 電話帳に電話番号を登録していると、メールやGPSなどの各種履歴からも発信できます。

Information

- 待受画面で を押したときに表示される電話帳の検索方法を設定することができます。【電話帳検索優先設定】

つながる

国際電話

WORLD CALLを利用して、日本国内から国際電話をかけることができます。

✤ WORLD CALL

ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、「WORLD CALL」もご契約いただいています（不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせて請求させていただきます。
- 「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったりする場合があります。

1 **「010-国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[✓]（音声電話）or [📷]（テレビ電話）**

イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

発信者番号通知設定 （ご契約時：通知する）

電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

1 **[MENU]▶[7]電話機能▶[4]発着信・通話設定▶[3]発信者番号通知▶[2]設定▶[1]通知する**

通知しないときには「[2]通知しない」を選択します。

Point

- 発信者番号はお客様の大切な個人情報です。通知する際には、十分にご注意ください。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

Information

- 国際アクセス番号の自動変換や、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかどうかを設定できます。また、国際アクセス番号や国番号を登録／編集することができます。【国際ダイヤルアシスト】
- 発信ごとに発信者番号を通知したり、非通知にしたりすることができます。【発信者番号通知／非通知▷186/184】
- 電話をかけるたびに、発信時の条件を設定することができます。【発信オプション】

電話／テレビ電話を受ける

基本的な着信動作を説明します。

1 着信

音やランプなどで着信をお知らせします。ディスプレイには、電話番号が通知されたときには電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときには名前が表示されます。また、電話番号が通知されなかったときには、その理由（非通知設定、公衆電話、通知不可能）が表示されます。

[Q]：着信音量の調整

[▲]：着信音、バイブレータの動作を停止

[⌐]：応答保留

2 [✓]（音声電話／テレビ電話）or [iα]（テレビ電話）

画面をタッチ後、[✓/iα]をタッチして電話に出ることもできます。

3 通話が終わったら[⌐]

Point

- 電話に出られなかったときには、待受画面に[2](数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

Information

- 音声電話着信時に[✓]以外のキーを押して電話に出られるように設定することができます。【Qエニーキーアンサー設定】
- 条件を設定して電話の着信を制限するさまざまな方法があります。⇒P41
- 音声電話がかかってきたときにFOMA端末を開いて応答したり【Q着信中オープン応答】、閉じたときに通話の切断／保留を選択することができます【Q通話中クローズ設定】。

通話中の操作

通話中に操作できる便利な機能です。

通話中保留

保留中はメロディが流れます。テレビ電話のときは自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

1 通話中に[●]［保留］

Point

音声電話の保留解除：[●] or [✓]
テレビ電話の保留解除（保留前の画像を送信）：[●]
テレビ電話の保留解除（カメラ映像を送信）：[iα]
テレビ電話の保留解除（代替画像を送信）：[✉] or [✓]

受話音量

通話中に受話音量を調整します。

1 通話中に[Q] or [▲][▼]

Point

- 音量設定の受話音量に反映されます。

Information

- 相手の声の大きさや周りの騒音に応じて、相手の声を聞き取りやすく調節したり【Qはっきりボイス】、相手の声のスピードを遅くしたり【Qゆっくりボイス】できます。
  はっきりボイス動作中は自分の行動にあわせてより聞き取りやすく調節します。【Qぴったりボイス】

電話に出られないとき

電話に出られない状況や場所に合わせて、利用する機能を使い分けましょう。

伝言メモ

伝言メモを「ON」にしておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

1 MENU▶7電話機能▶2伝言メモ／音声メモ▶4伝言メモ設定▶1ON

待受画面にが表示されます。

Point

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画することができます。最大件数に達すると、待受画面にが表示され、伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。
- 伝言メモを「ON」にしていなくても、着信中にを1秒以上押すと、その着信に限り1回だけ用件を録音／録画することができます（クイック伝言メモ）。
- 応答ガイダンスが流れているときや伝言メモ録音中／録画中でも、（テレビ電話は）を押すと電話に出ることができます。このとき、電話に出るまでに録音／録画された内容は記録されません。

伝言メモ応答時間設定：MENU▶7243▶時間を入力
伝言メモの再生：MENU▶721▶メモを選択▶削除するかを選択

公共モード

公共性の高い場所にいることや運転中であることを相手に伝える、自動応答サービスです。

公共モード（ドライブモード）

着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 （1秒以上）

待受画面にが表示されます。

Point

- 公共モード（ドライブモード）中は着信動作をせずに、不在着信として記録されます。

解除：（1秒以上）

公共モード（電源OFF）

電源を切っている間に着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 「＊25251」を入力▶

公共モード（電源OFF）を設定しても、画面上にアイコンなどは表示されません。

Point

解除：「＊25250」を入力▶
設定の確認：「＊25259」を入力▶

ネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
メロディコール	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスは利用できません。
- お申し込み、詳しいサービス内容については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。

ネットワークサービスの設定

代表的なネットワークサービスの操作方法を説明します。

サービス名	操作方法
留守番電話サービス	MENU ▶ 7 電話機能 ▶ 0 留守番電話サービス ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」▶「はい」▶ 呼出時間を入力 停止：3 ▶「はい」 再生：5 ▶ 1 or 2 ▶「はい」▶ ガイダンスに従って操作
キャッチホン	MENU ▶ 7 電話機能 ▶ * その他ネットワークサービス ▶ 2 キャッチホン ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」 停止：2 ▶「はい」
転送でんわサービス	MENU ▶ 7 電話機能 ▶ * その他ネットワークサービス ▶ 1 転送でんわ ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」▶「はい」▶ 電話番号を入力 ▶ 📷 ▶「はい」▶ 呼出時間を入力 停止：2 ▶「はい」

Point

- 留守番電話サービスと転送でんわサービスは、呼出時間を「0秒」にすると着信履歴に記録されません。
- キャッチホン開始後に、音声通話中に別の音声電話を着信したときは［発信キー］で応答します。保留相手がいるときは、［iαキー］で通話相手を切り替えられます。

緊急通報

本FOMA端末から次の緊急通報に発信できます。

警察への通報	（局番なし）110
消防・救急への通報	（局番なし）119
海上での通報	（局番なし）118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しています。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のとき、FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

海外利用

海外でもFOMA端末で通話したり、ｉモードが利用できたりします。

✤ 国際ローミング（WORLD WING）

海外でも、ドコモと提携している通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。ご利用の際にはWORLD WINGのお申込状況をご確認ください。詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用可能です。利用可能なエリアを確認してください。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  -『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」
  - データBOX内のマイドキュメントにプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。待受画面には利用中のネットワークを示すマークと接続している通信事業者名が表示されます。

通信サービス	ネットワーク		
	3G	GPRS	GSM
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
ｉモード※1	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
SMS※2	○	○	○
ｉチャネル※1、3	○	○	×
ｉコンシェル※4	○	○	×
ｉウィジェット※5	○	○	×
GPSの現在地確認※6	○	○	×
パケット通信（パソコン接続）	○	○	×

※1　ｉモード海外利用設定が必要です。
※2　宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※3　ｉチャネル海外利用設定が必要です。ベーシックチャネルの自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。
※4　ｉコンシェルの海外利用設定が必要です。インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。

※5　ｉウィジェットローミング設定が必要です。複数のウィジェットアプリが通信した場合、1通信ごとにパケット通信料がかかります。
※6　GPS測位は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

滞在国で電話をかける

電話帳のメモリ番号を利用して、簡単な操作で電話を発信できます（クイックダイヤル）。
海外で2桁以内の番号を入力した場合は、「クイックダイヤル」または「通常発信」を選択する画面が表示されます。「通常発信」を選択するとそのままの番号に発信されます（海外での緊急通報時に利用）。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 **[0]（1秒以上）**
「+」が入力されます。

2 **「国番号（日本の場合は81）-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）**
イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

1 **電話番号を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）▶「元の番号で発信」**
メッセージが表示されずに発信される場合もあります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

1 **[0]（1秒以上）▶「81-先頭の0を除いた携帯電話番号」を入力▶[発信]（音声電話）or [カメラ]（テレビ電話）**

Point
- 同じ滞在国にいる相手にかけても日本からの国際転送となるので、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

滞在国で電話を受ける

1 **電話がかかってくる▶[発信]（音声電話）or [iα]（テレビ電話）**

Point
- いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となり、発信者には日本までの通話料、着信者には着信料がかかります。

帰国後の設定

FOMA端末の電源を入れると、自動的にFOMAネットワークに接続されます。自動的に接続されない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G/GSM切替を「自動」に設定してください。

ｉモードメール送信／SMS送信

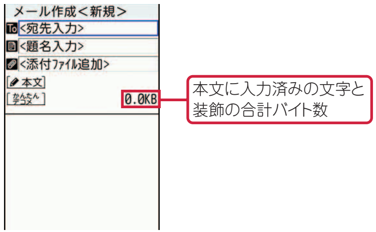
ｉモードメール送信

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間だけでなく、インターネット経由でe-mailのやりとりができます。

- ｉモードメールの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 ✉ ▶ ✉［作成］

次の画面が表示されます。



〈メール作成画面〉

2 **宛先、題名、本文を入力 ▶ 📷［送信］**

送信に成功したメールは、自動的に送信BOXのフォルダに保存されます。

Point

宛先を追加（同報送信）：メール作成画面で2件目以降の宛先欄を選択

ファイルの添付

最大10件、合計2Mバイトまでの画像や動画／ｉモーションなどを添付することができます。

1 **メール作成画面で添付ファイル欄を選択 ▶ ファイルの種類を選択 ▶ ファイルを添付**

2 **メールを編集 ▶ 📷［送信］**

Point

- 大きなサイズのファイルを添付すると、送信までに時間がかかります。また、送信後に送信BOXのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

添付ファイルの解除：メール作成画面で添付ファイル欄を選択 ▶ 添付ファイルにカーソル ▶ 📷 ▶ [1]～[3]（▶ [2]は選択操作が必要）▶「はい」

SMS送信

メールアドレスのわからない相手に、携帯電話番号を宛先にして文字でメッセージを送信することができます。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 **✉ ▶ [7]新規SMS作成 ▶ 宛先、本文を入力 ▶ 📷［送信］**

Point

- SMSを受信すると、ｉモードメールの受信と同様に動作します。⇒P53

デコメール®／デコメアニメ®

装飾（デコレーション）や画像を利用して、楽しいメールを作成できます。

デコメール®

文字サイズや背景色の変更、静止画やデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入ができます。装飾を指定してから文字を入力する方法と、文字を入力してから装飾を指定する方法があります。

〈例〉装飾を指定してから文字を入力

1 メール作成画面で「本文」▶ [i α] ［デコレーション］

2 装飾アイコンを選択 ▶ 装飾操作

装飾の種類は次のとおりです。

アイコン	機能	アイコン	機能	アイコン	機能
画像	画像挿入	色	文字色	サイズ	文字サイズ
点滅	点滅	テロップ	テロップ	スイング	スウィング
位置	文字位置	ライン	ライン挿入	背景	背景色

3 メールを編集 ▶ [📷] ［送信］

Point

- 本文入力後にメール作成画面で「かんたんデコメ」を選択すると、文章の内容に合わせて自動的に装飾が施されます。[📷]を押すと、次々にデコメ®の候補が表示されます。
- 本文入力画面で[i α]を1秒以上押すと、装飾結果を確認（プレビュー）できます。プレビュー画面の右上には入力できる残りのバイト数が表示されます。画面を戻すには、[●]を押します。

デコメアニメ®

Flash画像で作成されたテンプレートを利用して、デコメール®の表現力を高めることができます。

1 [✉] ▶ [5]新規デコメアニメ作成 ▶「編集」

2 テンプレートにカーソル ▶ [📷] ［決定］

3 テキストや画像を編集

テンプレートの変更：[MENU]［サブメニュー］▶[1]テンプレート呼出 ▶「はい」▶ 手順2へ戻る

4 [📷] ［編集終了］▶ メールを編集 ▶ [📷] ［送信］

〈デコメアニメテンプレート一覧画面〉

Point

- テンプレートを読み込んだ後は、テキストや画像の編集中に[✉]を押すと、プレビューできます。画面を戻すには、[MENU]を押します。

Information

- 圏外で作成したｉモードメールの自動送信や、ｉモードメールの送信日時を設定することができます。【🔍送信予約】

ｉモードメール受信

メールは特別な操作や設定をしなくても受信します（メール自動受信）。

1 ｉモードメールを受信

右の画面が表示されます。

2 受信完了画面で「メール」▶フォルダを選択▶メールを選択

〈受信完了画面〉

Point

メールBOX内のメールを見る： 待受画面で[✉]▶1～3▶フォルダを選択▶メールを選択

メール／メッセージ問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールやメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

1 [✉]（1秒以上）

Point

SMS問合せ： [✉]▶9

返信

1 [✉]▶1受信BOX▶フォルダを選択▶メールを選択▶[MENU]［サブメニュー］▶1返信／転送▶1返信～6引用返信

2 メールを編集▶[📷]［送信］

Point

- メールを選択して[📷]を押すと、あらかじめ用意されている定型文を使って簡単に返信することができます（クイック返信）。

メール振分け条件設定

送受信メールをフォルダに自動的に振り分けて保存することができます。

1 [✉]▶1受信BOX or 2送信BOX▶フォルダにカーソル

2 [MENU]［サブメニュー］▶4振分け条件設定▶番号を選択

3 振分け条件を選択▶条件を設定

4 [📷]［完了］

Point

保存済みｉモードメール／SMSの再振り分け： [✉]▶1 or 2▶[MENU]▶5▶認証操作▶「はい」

Information

- ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認して、受信するメールを指定したり、受信せずに削除したりすることができます。【ｉモードメール▷選択受信】
- 運転中や就寝中などメールや電話の応答ができないとき、自動的にｉモードメールで返信することができます。【メール自動返信設定】

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。ｉモード契約は不要です。

エリアメール受信

エリアメールを受信するとが点灯し、ランプの点滅や専用のブザー警報音、バイブレータの振動などで受信をお知らせします。

Point

- テレビ電話中やおまかせロック中、赤外線／iC通信機能利用中などは受信できません。

受信設定

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 **[✉]▶[*]メール設定▶緊急速報「エリアメール」設定▶[1]受信設定▶[1]利用する or [2]利用しない**

Information

- ブザー鳴動時間の設定や、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中の鳴動方法の設定ができます。【緊急速報「エリアメール」▷設定】

電話帳登録

電話帳にはFOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳の2種類があります。FOMA端末電話帳の登録方法を説明します。

1 **[電話帳]（1秒以上）▶名前を入力**

右の画面が表示されます。

2 **各項目を設定**

右の画面に表示されている項目のほかにも「所属」「役職名」「URL」が登録できます。

3 **[📷]［登録］**

〈電話帳の新規登録画面〉

リダイヤル／着信履歴からの電話帳登録

1 **[リダイヤル]（リダイヤル）or [着信履歴]（着信履歴）▶相手にカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[5]登録▶[1]電話帳新規登録 or [2]電話帳更新登録▶[1]本体 or [2]ドコモUIMカード（FOMAカード）**

更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

2 **各項目を設定▶[📷]［登録］**

Point

電話帳の検索：[MENU]▶[7][1][1]▶[1]～[7]
電話帳の修正：[電話帳]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]▶[3][1]▶項目を選択して修正▶[📷]▶「上書き登録」or「新規登録」
電話帳の削除：[電話帳]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU]▶[6]▶[1]～[3]▶「はい」
ドコモUIMカード電話帳の登録：[MENU]▶[7][1][3]▶名前を入力▶各項目を設定▶[📷]

ｉモードサイト／ホームページの表示

ｉモードでは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのサービスを利用できます。また、フルブラウザを利用して、パソコン向けのホームページを表示することもできます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってはサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、お買い上げ時や標準のデータで動作します。
- ｉモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、ｉモードパケット定額サービスを契約されることをおすすめします。

ｉモードサイトの表示

1 **[iα]▶表示する項目を選択**

ｉモード中はディスプレイにｉが点滅します。

2 **サイトを見終わったら[終話]▶「はい」**

パソコン向けホームページの表示

1 **[MENU]▶[2]ｉモード／web▶[＊]フルブラウザホーム**

お買い上げ時の状態では、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **ホームページを見終わったら[終話]▶「はい」**

ブラウザの切り替え

ｉモードブラウザ／フルブラウザの切り替え：サイトやホームページ表示中に[MENU]▶[5][2]

Point

- Wi-Fi利用時、ｉモードブラウザでFOMAネットワーク接続中（ｉモード接続中）にフルブラウザに切り替えた場合、フルブラウザはFOMAネットワークを利用して接続されます。

Information

- ｉモードとフルブラウザの動作は、ｉモード／web設定で変更します。【ｉモード／フルブラウザ▷ｉモード／web設定】

便利な機能

URL入力

1 MENU▶2 ｉモード／web▶5URL入力▶1URL入力▶URLを入力（半角2033文字以内）▶「ｉモード」or 「フルブラウザ」

Bookmark

一度見たサイトやホームページを登録しておき、すばやく表示します。

登録：サイトやホームページ表示中にMENU［サブメニュー］▶12▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「OK」▶登録先フォルダを選択

表示：MENU▶22▶フォルダを選択▶Bookmarkを選択

画面メモ

表示中のサイトやホームページの内容を、画面メモやキャプチャとして保存します。

保存：サイトやホームページ表示中にMENU［サブメニュー］▶22▶1～3▶「はい」

表示：MENU▶23▶1 or 2▶画面メモを選択

Point

- サイトやホームページ側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは保存できないことがあります。

RSSリーダー

RSSリーダーにRSSを登録すると、ホームページの最新情報を取得できます。

登録：ホームページ表示中にMENU［サブメニュー］▶032▶RSSを選択▶「はい」

表示：MENU▶27▶チャンネルを選択▶アイテムを選択

Point

- Wi-Fi利用時、RSSの情報は常にFOMAネットワークを利用して更新されます。

ログイン情報

ログイン情報（IDやパスワード）を登録しておくと、文字入力欄に貼り付けることができます。

登録：MENU▶2936▶認証操作▶未登録にカーソル▶●［編集］▶各項目を設定▶MENU［登録］

貼付：サイトやホームページ表示中にMENU［サブメニュー］▶062※1 or 072※2▶認証操作▶ログイン情報を選択

※1 ｉモードの場合　※2 フルブラウザの場合

画面の見かたと操作

サイトやホームページ表示中は、パソコンでインターネットを閲覧する場合と同じように文字の入力、リンク先への移動、ラジオボタンやチェックボックスの選択などができます。

〈ブラウザ画面〉

上下スクロール※**：**[◎]
上下連続スクロール※**：**[◎]（1秒以上）
タブの切り替え：[✎]
タブを閉じる／ブラウザの終了：[CLR]▶「はい」
ノーマル／スクロールモード切り替え：[📷]［操作切替］

●ノーマルモード時
ページの移動：[✉]［←戻る］／[iα]［進む→］
ビジュアル履歴：[✉]［←戻る］（1秒以上）／[iα]［進む→］（1秒以上）

●スクロールモード時
上下スクロール：[✉]［↑ページ］／[iα]［↓ページ］
上下連続スクロール：[✉]［↑ページ］（1秒以上）／[iα]［↓ページ］（1秒以上）

- フルブラウザ画面では[MENU]▶[*][9]を押して、ダイヤルキーに割り当てられた機能を表示できます。

※ フルブラウザで表示モード設定がPCレイアウトモード時、[◎]／[◎]（1秒以上）は左右スクロール／左右連続スクロールになります。

ブラウザ画面からのメニュー操作

サイトやホームページ表示中は、[MENU]［サブメニュー］を押してさまざまな操作ができます。

できること	操作
サイト閲覧履歴	[MENU]［サブメニュー］▶[3]▶履歴を選択
ｉMenu	[MENU]［サブメニュー］▶[4]※1 or [5][1]※2
フルブラウザホーム	[MENU]［サブメニュー］▶[5][1]※1 or [4][1]※2
情報の再読み込み	[MENU]［サブメニュー］▶[7]
URL表示	[MENU]［サブメニュー］▶[8][3]
ガイド表示領域の表示／非表示	[MENU]［サブメニュー］▶[9][5]※1 or [9][7]※2▶[1] or [2]
ビジュアル履歴の表示	[MENU]［サブメニュー］▶[0][1]
メール作成	[MENU]［サブメニュー］▶[0][3]※1 or [0][4]※2
電話帳登録	電話番号やメールアドレスにカーソル▶[MENU]［サブメニュー］▶[0][4]※1 or [0][5]※2▶[1] or [2]▶「はい」
ページ移動、フレーム表示に戻る	[MENU]［サブメニュー］▶[*]▶[1]～[5]

※1 ｉモードの場合　※2 フルブラウザの場合

iチャネルの利用

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動受信した情報が待受画面にテロップ表示され、CLRを押すとチャネル一覧に表示されます。
ｉチャネルには下記の2種類があります。

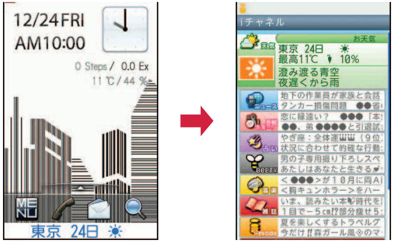
●ベーシックチャネル
ドコモが提供するチャネルで、情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。

●おこのみチャネル
IP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。
ベーシックチャネル、おこのみチャネルともに詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧ともに、国内の料金とは異なるパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約が必要です。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

テロップ表示されている情報の詳細を表示するには次の操作を行います。

1 待受画面でCLR▶チャネルを選択
サイトに接続され、詳細情報が表示されます。



Point
- ｉチャネルの詳細情報表示中の操作は、ｉモードサイトやホームページ表示中の操作と同じです。⇒P57

Information
- ｉチャネルのテロップの表示方法を変更することができます。【ｉチャネル▷テロップ表示設定】

地図・GPS機能の利用

- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。なお、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。

地図／ナビ

GPS対応ｉアプリを起動して、現在地確認後に地図を表示したり、ナビゲーションしたりします。

1 **MENU ▶ 9 地図／海外 ▶ 1 地図 or 2 ナビ**

Point

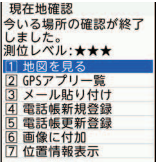
- このとき起動するのは、地図設定の地図選択で設定したｉアプリです。お買い上げ時には「地図アプリ」が設定されています。

現在地確認

自分がいる位置を確認します。現在地確認の測位をした際のパケット通信料は無料ですが、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 **MENU ▶ 9 地図／海外 ▶ 6 現在地確認／通知 ▶ 1 現在地確認**

測位中は🛰が点滅し、測位が終わると位置情報利用メニューが表示されます。位置情報利用メニューからは、地図を見る、GPS対応ｉアプリを利用する、位置情報を貼り付けたメール作成画面を表示する、電話帳に登録する、などの操作ができます。



〈位置情報利用メニュー〉

Information

- 設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供することができます。このサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。【GPS ▷ 位置提供】
- お買い上げ時には、さまざまな地図・GPS機能に対応したｉアプリが登録されています。【GPS対応ｉアプリ】

オートGPS

サービス提供者にお客様の現在地やウォーキング／Exカウンターで計測した情報を定期的（おおむね5分に1回）に自動送信することで、お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報をお知らせするサービスを利用できるようになります。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応ｉアプリからオートGPSサービス情報を設定してください。
- オールロック中、パーソナルデータロック中、セルフモード中、おまかせロック中などは、オートGPS機能を利用できません。
- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせを確認してください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- お客様の利用状況によっては、定期的な通信によりFOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。

ドコモ提供サービス設定

ｉコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスに連動したオートGPSのサービスを受けるため、ドコモに定期的に位置情報を送信するかどうかを設定します。サービスを利用するには、別途お申し込みが必要です。

1 **MENU ▶ 9 地図／海外 ▶ 7 地図・GPS設定／履歴 ▶ 5 オートGPS ▶ 1 ドコモ提供サービス設定 ▶「利用する」or「利用しない」**

オートGPS動作設定

オートGPS機能を利用するかどうかを設定します。

1 **MENU ▶ 9 地図／海外 ▶ 7 地図・GPS設定／履歴 ▶ 5 オートGPS ▶ 2 オートGPS動作設定 ▶ 1 ON or 2 OFF**

設定サービス一覧

オートGPSサービス情報を設定しているｉアプリ名（サービス名）や利用状況を一覧で表示します。

1 **MENU ▶ 9 地図／海外 ▶ 7 地図・GPS設定／履歴 ▶ 5 オートGPS ▶ 3 設定サービス一覧**

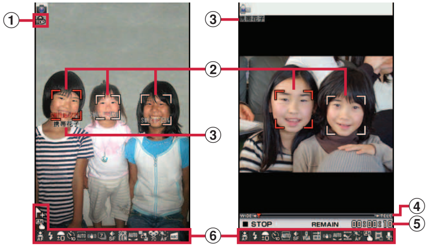
サービス（オートGPS機能含む）を解除：MENU ▶ 1 ▶ 1 ～ 3

Information

- 電池残量が少なくなった場合にオートGPS機能を停止し、電池の消費を抑えることができます。【GPS ▷ 低電力時動作設定】

しらべる

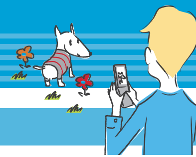
カメラ
撮影画面の見かた



〈静止画撮影画面〉　〈動画撮影画面〉

① **自動縦横判定アイコン**：撮影時の天地を判別して上を指す
② **フォーカス枠、顔検出枠**：AFモードが「顔優先AF」のときに顔を検出する
③ **検出された人物の名前**：フォーカスしている人物の名前を表示
④ **ズーム比率**：で拡大／縮小
⑤ **撮影可能時間の目安**
⑥ **撮影モードアイコン**：現在の撮影モード
位置情報付加　タッチオートフォーカス
オートフォーカス　撮影用ライト　明るさ
セルフタイマー　シーン別撮影　手ぶれ補正
連続／パノラマ撮影枚数　画質　画像サイズ
スナップムービーモード　ホワイトバランス
ベストショットセレクト　パノラマ撮影
クイック撮影モード　なめらかスローモーション
ズームマイク　スマイルファインダー
トラッキングフォーカス　歪み補正
映像・音声切替

カメラ
静止画／動画の撮影



静止画撮影

1

2 カメラを被写体に向けて［］or
自動保存モードがOFFのときは確認画面が表示されます。

動画撮影

1

2 カメラを被写体に向けて［録画／録音］or

3 撮影を終了したいときに［停止］or ▶1保存

撮影画面のキー操作

キー	操作	キー	操作
	設定一括変更画面を表示	5	サイズ選択
	静止画／動画切り替え	6	画質選択
	明るさ調整	7	シーン別撮影（静止画）、シーン別／エフェクト撮影（動画）
	フォーカスロック	8	フレーム撮影（静止画）、手ぶれ補正（動画）
1	カメラモード切り替え	9	ホワイトバランス
2	データBOX表示	＊	保存先選択
3	撮影用ライト	0	フォーカスする顔検出枠の変更（静止画）
4	セルフタイマー（静止画）、映像・音声切り替え（動画）	#	AFモード

さまざまな方法で撮影する

できること	操作
スマイルファインダー	静止画撮影画面でMENU［サブメニュー］▶64▶笑顔度を選択
無限連写／ベストショットセレクト／連続撮影／パノラマ撮影	静止画撮影画面でMENU［サブメニュー］▶26▶撮影方法を選択
クイック撮影モード	静止画撮影画面でMENU［サブメニュー］▶32
なめらかスローモーション	動画撮影画面でMENU［サブメニュー］▶23▶1 or 2
スナップムービーモード	動画撮影画面でMENU［サブメニュー］▶32

Point

- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置すると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 撮影待機中にFOMA端末を閉じる、または約2分間操作をしないと、カメラは終了します。
- プールの水の中で静止画／動画撮影するときには、シーン別撮影やシーン別／エフェクト撮影を「水中」に切り替えての撮影をおすすめします（「水中」に設定すると、タッチパネルは動作しません）。防水性能に関する記載をよく読んでから行ってください。⇒P18

Information

- 被写体を追尾するトラッキングフォーカス、あらかじめ登録した人物の顔を検出するサーチミーフォーカスなどの機能があります。【カメラ▷トラッキングフォーカス｜サーチミーフォーカス】
- 名刺を撮影して、名前、電話番号、メールアドレス、住所、会社名などの情報を電話帳に登録することができます。【名刺リーダー】

撮影した静止画／動画を見る、編集する

静止画／動画はデータBOXに保存されます。

1 MENU▶5データBOX▶静止画は1マイピクチャ or 動画は4ｉモーション・ムービー▶フォルダを選択▶データを選択

Point

ファイル添付のメール作成：一覧画面でデータにカーソル▶静止画はMENU▶21 or 動画は✉▶1（▶500Kバイトを超える場合は1～3）

ファイルを待受画面に設定：一覧画面でデータにカーソル▶MENU▶41

手書きスナップ

タッチ操作で静止画に装飾をします。

1 MENU▶5データBOX▶1マイピクチャ▶フォルダを選択▶静止画にカーソル

2 MENU［サブメニュー］▶1編集・情報表示▶3手書きスナップ▶1編集 or 2はがきサイズで編集▶タッチでパレット操作

文字：サイズと色を選んで文字入力▶［確定］▶位置指定

スタンプ：スタンプを選択▶位置指定

ライン/消しゴム：ラインの太さと色を選択▶［確定］▶位置指定

※ 消去するときは［消しゴム］を選択して、消去する部分をスライドします。

ビューティ：「美白」or「デカ目」▶顔をタッチ

3［完了］▶「保存のみ」or「メールに貼付」

「はがきサイズで編集」では、［完了］▶「はい」

ワンセグを見る

●ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

※「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

※「ワンセグ」サービスの詳細は、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

●放送波について

ワンセグは放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など

※受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

●初めてワンセグを利用する場合の画面表示

免責事項の確認画面とワンセグアンテナの利用に関する確認画面が表示されます。了承し「OK」を押すと、以後同様の確認画面は表示されません。

プリセットからチャンネルリストの作成 （未作成時）

ワンセグを視聴するには、まずチャンネルリストを作成する必要があります。ここでは、FOMA端末に登録されている地域から放送局とチャンネルを読み込みます。

1. **[MENU]▶[4]カメラ／TV／MUSIC▶[2]ワンセグ▶[7]チャンネルリスト▶「はい」▶「プリセットから設定」**
   「自動チャンネル設定」を選択すると、現在いる場所で受信できる放送局とチャンネルの検索が行われます。自動チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でワンセグアンテナを伸ばして行ってください。
2. **地域を選択▶「はい」**

利用チャンネルリストの設定

チャンネルリストが複数あるときや地域を移動した場合には、チャンネルリストの切り替えが必要です。

1. **[MENU]▶[4]カメラ／TV／MUSIC▶[2]ワンセグ▶[7]チャンネルリスト▶チャンネルリストにカーソル▶[iα]［登録］**
   チャンネル番号一覧が表示されます。チャンネルにカーソルを合わせて[●]を押すと、視聴することができます。

ワンセグ視聴

1. **[TV]（1秒以上）**

視聴画面の見かたと操作

全画面でワンセグを視聴したり、画面を分割してデータ放送を同時に楽しむことができます。

〈横画面（全画面）〉

表示・効果設定のアクティブ操作切替が「OFF」のときは次のような操作ができます。

音量調整：[✉]［音量小］／[iα]［音量大］or [▲][▼]
番組表ｉアプリの起動：[📷]［番組表］
選局：[1]～[9]、[＊]、[0]、[＃]
前後のチャンネルの選択：[◎]
静止画の録画：[📷]
ビデオ録画の開始／停止：[📷]（1秒以上）
視聴画面の切り替え：[✓]
字幕の表示／非表示：[✓]（1秒以上）

Point

- 視聴中のサブメニューからは、録画・視聴予約、オフタイマー・クローズ動作設定・なめらか表示・ワンセグecoモードなどの動作設定、FMトランスミッタ出力やBluetooth出力などができます。

キー操作の一覧表示：視聴中に[MENU]▶[0]

視聴・録画予約

自動的にワンセグ視聴や録画を起動したり、番組の開始をアラーム音で知らせたりします。

1 **[MENU]▶[4]カメラ／TV／MUSIC▶[2]ワンセグ▶[4]予約／予約リスト**

2 **[MENU]［サブメニュー］▶[1]新規予約▶入力方法を選択▶[📷]［登録］**

「視聴予約」「録画予約」を選択した場合には、続けて日時やチャンネルなどの予約内容を設定します。
「番組表」を選択すると、番組表ｉアプリが起動します。番組表ｉアプリで番組を選んで視聴または録画予約を行うと、設定画面に予約内容が登録されて表示されます。

3 **[📷]［登録］**

Point

- 録画予約画面で「録画動作」の「録画先」を「自動（本体優先）」または「自動（microSD優先）」にすると、空き領域や保存件数に応じて保存先が自動的に決まります。

録画した番組の再生

1 **[MENU]▶[5]データBOX▶[0]ワンセグ▶フォルダを選択▶データを選択**

Music&Videoチャネル

夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスで、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービス契約が必要です。
- 番組によっては、Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますので、ご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得はできません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

番組の設定

Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要な場合があります。

1 **MENU▶4カメラ／TV／MUSIC▶4Music&Videoチャネル**

右の画面が表示されます。

2 **「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定**

〈Music&Videoチャネル画面〉

番組の再生

1 **MENU▶4カメラ／TV／MUSIC▶4Music&Videoチャネル▶番組を選択**

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開：●［ポーズ／再生］or 📷

音量調整：🔘 or ▲▼

巻き戻し／早送り：🔘（1秒以上）

チャプターの先頭に移動：再生時間が2秒以上で🔘 or ▲（1秒以上）

前のチャプター：再生時間が2秒未満で🔘 or ▲（1秒以上）

次のチャプター：🔘 or ▼（1秒以上）

〈Music&Videoチャネルプレーヤー画面〉

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル®、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを再生します。また、サイトからダウンロードしたうた文字を、歌詞設定することでプレーヤー画面に表示させることができます。

※ ミュージックプレーヤーの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

着うたフル®のダウンロード

1 **サイトを表示▶着うたフル®を選択▶「保存」▶「本体」or「microSD」**

パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存

パソコンとの接続にはFOMA USB接続ケーブル（別売）などが必要です。詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

1 **【MENU】▶【8】本体設定▶【8】外部接続▶【1】USBモード▶【3】MTPモード▶「はい」**

2 **Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続▶パソコンからWMAファイルを転送**

音楽データの再生

1 **【MENU】▶【4】カメラ／TV／MUSIC▶【3】ミュージックプレーヤー▶フォルダまたはプレイリストを選択▶音楽データを選択**

〈ミュージックプレーヤー画面〉

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開：【●】［ポーズ／再生］or【▣】

音量調整：【◇】or【▲】【▼】

巻き戻し／早送り：【◁▷】（1秒以上）

曲の先頭に移動：再生時間が2秒以上で【◁】or【▲】（1秒以上）

前の曲：再生時間が2秒未満で【◁】or【▲】（1秒以上）

次の曲：【▷】or【▼】（1秒以上）

クイックプレイリスト登録：【▣】をすばやく2回押す

終了：【▣】（1秒以上）

Point

- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- FOMA端末、microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリはｉモード対応携帯電話用のソフトで、株価や天気情報などを自動更新したり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだりすることができます。ｉウィジェットは、電卓や時計、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。
いずれもｉモードサイトやIP（情報サービス提供者）などが提供するサイトからダウンロードすることができます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- ダウンロードやｉウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかることがあります。
- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリ（ICカード）に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ダウンロード

1 サイトを表示▶ｉアプリを選択▶ダウンロード完了後に「はい」or「いいえ」

ダウンロードしたｉアプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。

ｉアプリの起動

1 [iα]（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリを選択

Point

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動：[MENU]▶[#][1]▶ｉアプリを選択
GPS対応ｉアプリを起動：[MENU]▶[9][5]▶ｉアプリを選択

ｉウィジェットの起動

1 [W/TV]▶ウィジェットアプリを選択

Information

- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  「@Fケータイ応援団」（2010年9月現在）
  ｉMenu ⇒ メニューリスト ⇒ ケータイ電話メーカー ⇒ @Fケータイ応援団
  ※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

ｉモーション／ムービーの再生

サイトやホームページからｉモーションやムービー（映像や音など）を取得することができます。

✤ 再生可能なｉモーション

種類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生 • 取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作可能です。
	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生 • 再生終了後、ｉモーションのデータは消去されます。

※ 保存できないｉモーションもあります。

✤ 再生可能なムービー

種類	配信方式	再生動作
ストリーミングタイプ（保存不可）	ライブ配信	リアルタイムに配信 • 一時停止／再生再開／再生位置の移動などはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめ用意されたムービーを配信

ｉモーション・ムービーの取得

1 サイトやホームページ表示中にｉモーションやムービーを選択

データ取得中またはダウンロード完了後に再生が開始されます。

2 「保存」▶保存先のフォルダにカーソル▶[📷]［確定］

ストリーミングタイプのｉモーションは「戻る」を選択するとサイト画面に戻ります。

Point

• ムービーのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

動画／ｉモーションの再生

1 [MENU]▶[5]データBOX▶[4]ｉモーション・ムービー▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択

再生中は次のような操作ができます。

音量調整：[◎] or [▲][▼]

巻き戻し／早送り再生：[◎]（1秒以上）

一時停止／再生／先頭から再生（停止中）：[●]

停止：[iα]

Information

• サイトから標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定できます。【🔍動画自動再生設定】
• ブルーレイディスクレコーダーに録画した番組をFOMA端末内のmicroSDカードに保存することができます。【🔍ブルーレイディスクレコーダー連携】

おサイフケータイの利用

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。
さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、セキュリティも充実しています。詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

おサイフケータイの利用手順

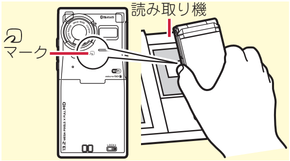
おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認したりします。おサイフケータイWebプラグインに対応したおサイフケータイ対応サービスは、サイトからサービスを利用することができます。

1 必要に応じておサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してサービスの初期設定を行う

3 FOMA端末のマークを読み取り機にかざす

このとき、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する必要はありません。
マークを読み取り機にかざしてもうまく認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。



Information

- ICカード機能を使用できないようにすることができます。⇒P40
- 機種変更や故障修理時などでおサイフケータイをお取り替えになる際、ICカード内のデータを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができます。【iCお引っこしサービス】
- 読み取り機やサイトなどからクーポン券などの電子カードを取得することができます。【トルカ】

ｉコンシェルの利用

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）がお客様の生活をサポートするサービスです。お客様からお住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳などをお預かりして、メモやスケジュールの内容、お客様の生活エリアや居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末内のメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスの契約のないお客様がｉコンシェルにご契約になると、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要です。国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります（国内での通信料とは異なります）。
- コンテンツによっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・メモ・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

インフォメーション受信

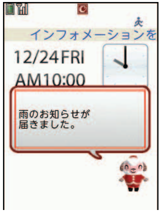
インフォメーションは自動的に送られてきます。

1 インフォメーションを受信

ステータス表示領域に[C]が表示され、ランプや着信音でお知らせします。

2 待受画面でポップアップメッセージを選択▶インフォメーションを選択

インフォメーションにスケジュールのメモやトルカの添付、サイトへのリンク項目がある場合は、アイコンを選択すると内容を確認できます。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

〈インフォメーション受信画面〉

Point

待受画面から受信済みのインフォメーションの詳細を表示：
MENU▶[＊]▶「インフォメーション一覧」▶インフォメーションを選択

Information

- ｉコンシェルのインフォメーション受信時に、待受画面に表示するかどうかを設定できます。【インフォメーション表示設定】

より便利に

スケジュール

メモをスケジュールで管理したり、ダウンロードしたｉスケジュールを確認したりします。
スケジュールの表示や機能はスケジュールタイプにより異なります。ここでは、ｉコンシェルやメモ一覧と連動して管理できる「ノーマル」で説明します。
また、スケジュールを起動または終了するときに、ｉコンシェルの契約状況によってメッセージが表示されることがあります。

スケジュールからのメモ登録

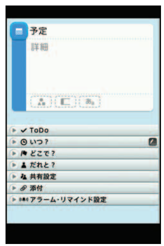
1 **[ ]▶[MENU]［サブメニュー］▶[1]新規作成**

右の画面が表示されます。

2 **各項目を設定▶[ ]［登録］**

ヒントの表示／非表示：[ ]［ヒントON／OFF］

「シール」「いつ？」「どこで？」「だれと？」「共有設定」「添付」に表示されたヒントから入力候補を選択できます。



〈新規作成画面〉

Point

待受画面からの簡単な登録（クイックスケジュール）：待受画面で日付時刻を入力（12月24日10時0分の場合、「12241000」）▶[ ]

スケジュールの確認

1 **[ ]▶日付を選択▶メモを選択**

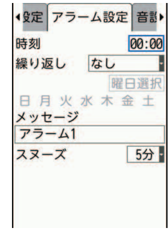
アラーム

指定した時刻にアラームを鳴らします。アラームが鳴った後にワンセグが起動するように設定することもできます。

1 **[ ]（1秒以上）▶番号を選択**

右の画面が表示されます。

2 **[ ]で画面を切り替えて各項目を設定▶[ ]［登録］**



〈アラーム設定画面〉

Point

- 「スヌーズ」には30分間での鳴動間隔を指定します。
- 連絡先設定画面の「連絡先」を「あり」にすると、アラーム終了時に電話発信確認画面が表示されます。
- ワンセグ設定画面の「ワンセグ利用」を「する」にすると、アラーム終了または停止時にワンセグが起動します（ワンセグアラーム）。
- アラームが鳴っているときには、約1分間何も操作しない、[ ]と[ ]と[ ]以外のキーを押す、タッチ操作、ダブルタップのいずれかで、アラームが停止またはスヌーズ動作になります。[ ]を押すと終了します。

Information

- 電源を切っていてもアラームの時刻に電源が入るように設定することができます。【アラーム自動電源ON】

バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード、CODE128コードの情報を読み取って利用することができます。

1 **MENU ▶ 6 便利ツール ▶ 1 バーコードリーダー**

2 **カメラをコードに合わせる**

コードの読み取りが完了すると確認音が鳴ってデータが表示されます。読み取り後の画面から、サブメニューでコピーや保存の操作をします。データによっては、その画面から電話帳への登録やメール作成、サイトやホームページへの接続などができます。

〈読み取り中画面〉

Point

- コードが読み取りにくいときは、[✉]を押してシャッターモードに切り替えてください。また、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節によってコードを認識しやすくなる場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などによって、読み取れない場合があります。
- CODE128コードを読み取るには、対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。

Information

- 読み取り前にフォーカスロックやライト、ズーム、AFモードなどの設定を変更できます。【バーコードリーダー ▷ 設定変更】

電子辞書

お買い上げ時に登録されている電子辞書を利用します。

1 **MENU ▶ 6 便利ツール ▶ 「電子辞書」 ▶ [左右キー]で辞書の分類を切り替え**

2 **辞書一覧で辞書を選択**

辞書によって、キーワード入力画面または辞書メニューが表示されます。

「広辞苑 第六版 DVD-ROM版（内蔵版）」「リーダーズ英和辞典 第2版（内蔵版）」での辞書メニュー表示：[✉] ［辞書メニュー］

「みんなで国語辞典② あふれる新語」「デイリー日韓英3か国語会話辞典（内蔵版）」でのキーワード入力：[✉] ［キーワード］

表示中のすべての辞書から調べる：[📷] ［一括検索］

3 **キーワードを入力（64文字以内）または章や項目などを選択**

検索一覧が表示されます。

4 **調べたいキーワードや項目などを選択**

詳細画面表示までの操作は辞書によって異なります。

Point

- 付属の電子辞書データDVD F02に収録されている辞書をmicroSDカードに保存して利用することができます。

Information

- 辞書によっては、検索の種類別に複数の条件やキーワードを設定して調べる複合検索を利用することができます。【電子辞書 ▷ 検索（複合）】

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
Bluetooth機器の使用方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
※ すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✤ 対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR

✤ Bluetooth機能でできること

- Bluetoothヘッドセット F01（別売）などと接続して、ワイヤレスで通話できます。また、カーナビなどのBluetooth機器（市販品）と接続して、ハンズフリーで通話できます。
- ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetooth対応オーディオ機器（市販品）と接続して、音声や音楽などをワイヤレスで再生したり、リモコン操作したりできます。
- Bluetooth対応キーボード（市販品）と接続して、文字を入力することができます。
- Bluetooth対応パソコンと接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信ができます。
- Bluetooth機器と接続して、プロフィール、電話帳、メモ、受信／送信／未送信メール、Bookmark、トルカ、現在地通知先を送受信できます。
- 他の携帯電話やBluetooth対応健康管理機器（市販品）などと接続して、ｉアプリで対戦ゲームをしたり、測定データを受信したりできます。
- Bluetooth対応プリンタやフォトフレーム（いずれも市販品）などと接続して、静止画の印刷や表示、画像の受信ができます。

●無線LANとの電波干渉について
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、FOMA端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

Bluetooth機器の登録

Bluetooth機器をあらかじめ登録待機状態にしてください。

1 **MENU▶6便利ツール▶8Bluetooth▶5新規機器登録**
Bluetooth機器がサーチされた後、新規機器登録画面が表示されます。

2 **登録するBluetooth機器を選択▶Bluetoothパスキーを入力**

Point
- Bluetoothパスキーについては、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。ワイヤレスイヤホンセット 02およびBluetooth標準規格Ver.2.1に対応したBluetooth機器の登録時は、Bluetoothパスキーの入力は不要です（Bluetooth機器によっては入力が必要です）。

Bluetooth機器との接続

1 **MENU▶6便利ツール▶8Bluetooth▶4機器リスト・接続・切断▶接続するBluetooth機器を選択**

Wi-Fi

アクセスポイントモード（親機）またはクライアントモード（子機）でWi-Fiを利用したインターネット接続ができます。
- 本FOMA端末は、IEEE802.11bとIEEE802.11gの無線LAN規格に準拠しています。親機と子機が同じ規格に対応していないと接続できません。
- Wi-Fiを利用すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

●Bluetooth機器との電波干渉について

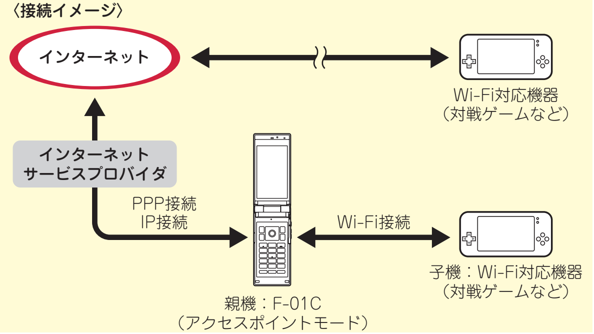
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などに通信が途切れたり音声が乱れたりすることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、FOMA端末やWi-Fi対応機器からBluetooth機器を10m以上離してください。

アクセスポイントモード

FOMAエリア内で、本FOMA端末をWi-Fiのアクセスポイント（親機）として、Wi-Fi対応機器（子機）のゲーム対戦などに利用することができます。
- ドコモUIMカード未挿入時や、FOMAサービスの解約または休止時は、本機能は利用できません。

Point
- アクセスポイントモードを利用するには、mopera Uなどのインターネットサービスプロバイダとの契約が必要です。

アクセスポイント接続イメージ



無線設定

アクセスポイントモードでの接続を行う前に、不正利用防止のためのセキュリティを設定します。本FOMA端末とWi-Fi対応機器で同じセキュリティ方式を設定する必要があります。

1 **MENU ▶ 6 便利ツール ▶ 9 Wi-Fi ▶ 2 アクセスポイントモード（親機）▶ 5 無線設定**

2 **各項目を設定 ▶ 📷［登録］**

認証方式欄で「なし（open）」以外を選択して「詳細設定」を押し、認証方式にあわせたセキュリティキーを設定したり、MACアドレス制限などを設定します。

接続先（APN）の設定

アクセスポイントモードで外部接続するときの接続先（APN）を設定します。

1 MENU ▶ 6 便利ツール ▶ 9 Wi-Fi ▶ 2 アクセスポイントモード（親機）▶ 2 接続先（APN）一覧

2 [iα]［新規作成］▶ 各項目を設定 ▶ [📷]［確定］

3 接続先（APN）を選択 ▶ [📷]［登録］

Point

- お買い上げ時にはmopera、mopera Uが登録されており、「mopera U 128k」が接続先（APN）として設定されています。

アクセスポイントモードの設定

1 MENU ▶ 6 便利ツール ▶ 9 Wi-Fi ▶ 2 アクセスポイントモード（親機）▶ 1 APモードオン ▶「はい」

お買い上げ時の状態では、APモードオンにすると、アクセスポイントモードを利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 Wi-Fi対応機器側で接続設定する

本FOMA端末に設定されているESSIDをWi-Fi対応機器側に登録します。操作方法はWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。無線設定の認証方式と同一のセキュリティキーを入力します。MACアドレス制限を設定した場合は、Wi-Fi対応機器のMACアドレスをあらかじめ登録しておく必要があります。

3 FOMA端末とWi-Fi対応機器を接続する

クライアントモード

ご家庭内などの小規模ネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントにクライアント（子機）として接続すると、ホームページの閲覧やデータのダウンロード／アップロードなどを高速に利用できます。

新規接続先の設定

アクセスポイントの情報をFOMA端末に登録します。

- アクセスポイント側の設定方法や登録に必要な情報は、アクセスポイントの取扱説明書などをご覧ください。

1 MENU ▶ 6 便利ツール ▶ 9 Wi-Fi ▶ 1 クライアントモード（子機）▶ 3 新規接続先設定

2 FOMA端末にアクセスポイントを登録する方法を選択

Point

- WEPキーまたはPSKキーの入力が必要な場合は、アクセスポイントに設定されているセキュリティキーを入力します。

アクセスポイントへの接続

Wi-Fiモードを「オン」にして、登録済みのアクセスポイントを検索して接続します。フルブラウザを起動すると、Wi-Fi経由でインターネットを利用できます。

1 MENU ▶ 6 便利ツール ▶ 9 Wi-Fi ▶ 1 クライアントモード（子機）▶ 1 Wi-Fiモードオン ▶「はい」

microSDカードを利用する

microSDカードには、静止画や動画、メロディなどを保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりすることができます。

- F-01Cは、市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2010年9月現在）。最新の動作確認情報については、下記をご覧ください。なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

iモードから： i Menu ⇒ メニューリスト ⇒ ケータイ電話メーカー ⇒ @Fケータイ応援団 ⇒ メモリーカード対応情報

サイトアクセス用QRコード

パソコンから：FMWORLD（http://www.fmworld.net/）⇒ 携帯電話 ⇒ microSD対応状況、microSDHC対応状況

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

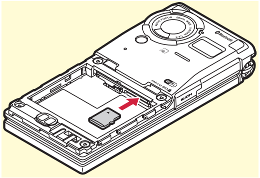
✤ microSDカード使用時の留意事項

- パソコンなど他の機器からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

取り付け

1 FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（右図）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む



※ microSDカードを取り外すには、microSDカードを軽く押し、飛び出させてから引き出します。

初期化

microSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください。

1 MENU ▶ 6 便利ツール ▶ * microSD ▶ 📷［初期化］▶ 認証操作 ▶「はい」

Point

- 初期化によって、microSDカード内のデータは消去されます。

FOMA端末とmicroSDカード間でデータをやり取りする

microSDカードへ画像の移動／コピー

1 **MENU▶5データBOX▶1マイピクチャ▶フォルダを選択▶データにカーソル**
microSDカードのフォルダ一覧が表示された場合は、「→本体」を選択します。

2 **MENU［サブメニュー］▶5移動／コピー**
移動：2▶1～3▶フォルダにカーソル▶📷▶「はい」
コピー：3▶1～3▶フォルダにカーソル▶📷▶「はい」
1件移動／コピーの場合は「はい」を押す操作は不要です。

Point
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは移動やコピーができません。

FOMA端末へ画像の移動／コピー

1 **MENU▶6便利ツール▶*microSD▶1データBOX▶1マイピクチャ▶フォルダを選択▶データにカーソル**

2 **MENU［サブメニュー］▶5移動／コピー**
移動：2▶1～3▶フォルダにカーソル▶📷▶「はい」
コピー：3▶1～3▶フォルダにカーソル▶📷▶「はい」
1件移動／コピーの場合は「はい」を押す操作は不要です。

microSDカードのデータ表示

1 **MENU▶6便利ツール▶*microSD▶データの種類を選択▶フォルダまたはデータの種類を選択▶データを選択**

一括バックアップ

FOMA端末の電話帳、メモ、メール、Bookmark、設定項目データを一度にmicroSDカードにバックアップすることができます。2回目以降は上書き保存になります。

1 **MENU▶6便利ツール▶*microSD▶7バックアップ／復元▶1microSDへバックアップ**

2 **認証操作▶「はい」**
電話帳が登録されていない場合、操作3は不要です。

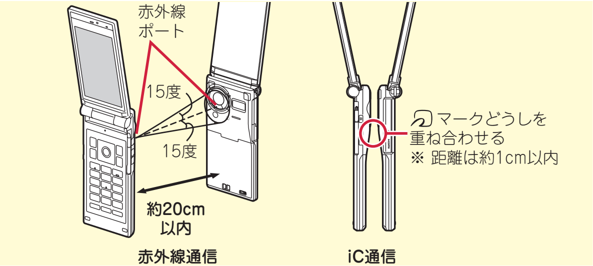
3 **「はい」or「いいえ」**

Point
- 電話帳に登録されている動画、100Kバイトを超えた分のメール添付ファイルはバックアップされないなど、いくつかの制限があります。
- 操作1の最後で「2本体へ復元」を選択すると、microSDカードに一括バックアップしたデータをFOMA端末に復元することができます。この操作によってFOMA端末側の最新データは削除され、上書き保存されます。

Information
- microSDカードの使用量を確認したり、他の機器で変更、追加、削除したデータを正しく認識させるためのメニューがあります。
【microSDカード ▷ 使用状況｜情報更新】
- 保存場所に関係なく静止画と動画をアルバムに整理して閲覧することができます。【マイコレクション】

赤外線通信／iC通信

赤外線通信機能やiC通信機能が搭載されたFOMA端末などとデータの送受信ができます。



Point

- 全件送受信の場合は、送受信側であらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておきます。赤外線の場合は、先に受信側の端末を待機状態にします。
- 全件送受信では、受信側に保存されていたデータは削除され、新しく受信したデータが保存されます。ただし、受信側がF-01Cで、データが画像、動画、メロディ、ドキュメント（PDFデータ）、デコメアニメ®テンプレートの場合は追加保存されます。また、フォルダ名やデータの並び順などが送信側と異なる場合があります。
- 充電中はiC通信によるデータの送信はできません。

電話帳の1件赤外線／iC送信

1 送りたい電話帳にカーソル▶MENU［サブメニュー］▶8データ送信▶1赤外線送信 or 2iC送信▶1送信▶「はい」

データの全件赤外線／iC送信

1 MENU▶6便利ツール▶4赤外線／iC通信▶2赤外線全件送信 or 3iC全件送信▶送信項目を選択▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」

データの1件赤外線受信

1 MENU▶6便利ツール▶4赤外線／iC通信▶1赤外線受信▶1受信▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」

データの1件iC受信

1 送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶受信後に「はい」

データの全件赤外線受信

1 MENU▶6便利ツール▶4赤外線／iC通信▶1赤外線受信▶2全件受信▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」

データの全件iC受信

1 送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶認証操作▶認証パスワード入力▶再度マークを重ね合わせる▶受信後に「はい」

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、microSDカード内のWMAファイルや画像などをやりとりすることができます。また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

USBモード

パソコンからFOMA端末内のmicroSDカードのデータを操作することができます。

1 **MENU▶8本体設定▶8外部接続▶1USBモード▶モードを選択**

通信モード：パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

microSDモード：FOMA端末内のmicroSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作するときに設定します。

MTPモード：Windows Media PlayerでmicroSDカードに音楽データを転送するときに設定します。

2 **「はい」**

ドコモケータイdatalink

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。

Point

- データ通信やドコモケータイdatalinkを使ったデータ転送を行うには、付属のCD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。詳しくは付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
- USBモードが「microSDモード」「MTPモード」の場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは不要です。

故障かな？と思ったら

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。⇒P83
気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

✜ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- 電池切れになっていませんか。

●充電ができない（充電中に充電ランプが点灯しない、または点滅する）
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。
- ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。
- アダプタの電源プラグまたはシガーライタプラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

✜ 端末操作

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●キー操作やタッチ操作をしても動作しない
- オールロック、おまかせロック、HOLD、自動キーロック、タッチロックを起動していませんか。
- ecoモードがONでフル省電力のときはタッチ操作は無効になります。

●電池の使用時間が短い
- 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモUIMカードが認識されない
- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。
- FOMAカード（青色）を挿入していませんか。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「ON」にして電波のよい所で電源を入れ直してください。

✜ 通話

●通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
- 電源を入れ直すか、電池パックやドコモUIMカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、圏外ではなく、アンテナアイコンが3本表示されている状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- メモリ別着信拒否／許可、着信拒否設定、メモリ登録外着信拒否、3G/GSM切替を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●ダイヤルキーを押しても発信できない

オールロック、おまかせロック、セルフモード、ダイヤル発信制限、自動キーロックを起動していませんか。

✜ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない
- 電池パックを取り外すと、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- おまかせロックやICカードロックを起動していませんか。
- FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

✜ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

✜ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

✜ **お願い**

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有していますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまったりした場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

iモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

「iモード故障診断サイト」への接続方法

iモードサイト： iMenu⇒お知らせ⇒サポート情報⇒お問い合わせ⇒故障・電波状況お問い合わせ先⇒iモード故障診断

サイトアクセス用
QRコード

- アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- 海外からアクセスする場合は有料となります。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。
更新方法には、「自動更新」「即時更新」「予約更新」の3つの方法があります。

※ ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

✤ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他機能を利用できません（ダウンロード中は音声電話の着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止されたりした場合は、再度、電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

自動更新設定 （お買い上げ時：自動で更新）

ソフトウェア更新が必要なときに自動で更新を行うか、更新が必要なことを通知するかを選択します。

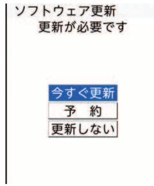
1 **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 9 その他設定 ▶ 5 ソフトウェア更新 ▶ 認証操作 ▶ 「自動更新設定」 ▶ 各項目を設定 ▶ 📷 ［完了］**

「自動で更新」にした場合、ソフトウェア更新が必要になると、自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面に（書き換え予告アイコン）が表示されます。アイコンを選択して、書き換えの開始時刻を確認したり、変更したりできます。
「更新の通知のみ」にした場合、更新が必要なときに待受画面に（更新お知らせアイコン）が表示されます。

即時更新

待受画面の(更新お知らせアイコン）を選択するか、メニューの項目を選択する方法があります。
ただし、サーバが混み合っているときには、即時更新ができない場合があります。

〈例〉更新お知らせアイコンを選択して更新する



〈ソフトウェア更新画面〉

1 **●▶(更新お知らせアイコン）を選択▶「はい」▶認証操作**

2 **「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始**

ダウンロード中止：ダウンロード中画面で●

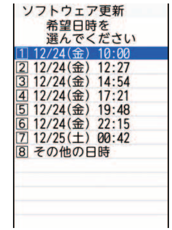
サーバが混み合っているときには、更新日時を予約するか、更新を取りやめるかの選択画面が表示されます。

3 **ダウンロード終了の約5秒後に自動的に書き換え開始▶書き換え終了後、自動的に再起動▶「OK」**

予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合に、日時を予約して更新を行います。

〈例〉表示されている候補から予約する



〈希望日時選択画面〉

1 **ソフトウェア更新画面で「予約」**

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 **希望日時を選択▶「はい」▶「OK」**

「その他の日時」を選択すると、表示されている候補以外から日時を予約することができます。設定すると待受画面に(予約アイコン）が表示されます。

ソフトウェア更新の予約確認

予約した日時の確認や変更などを行います。

1 **MENU▶8本体設定▶9その他設定▶5ソフトウェア更新▶認証操作▶「更新実行」**

予約確認画面が表示されます。

2 **内容を確認▶「OK」**

Point

予約の変更：予約確認画面で「変更」▶希望日を選択▶希望時間帯を選択▶希望日時を選択▶「はい」▶「OK」
予約の取り消し：予約確認画面で「取消」▶「はい」▶「OK」

スキャン機能（セキュリティスキャン）

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。

●パターンデータの更新

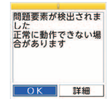
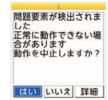
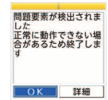
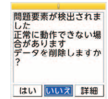
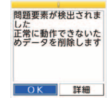
まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

自動更新設定

パターンデータを自動で更新するように設定します。

1 **MENU ▶ 8 本体設定 ▶ 6 ロック・セキュリティ ▶ 6 スキャン機能 ▶ 2 自動更新設定 ▶「有効」▶「はい」▶「はい」▶「OK」**

パターンデータの自動更新が行われると、待受画面に が表示されます。

警告レベル	スキャン結果画面	対処方法
0		**「OK」**：起動中のアプリケーションの処理を続行する
1		**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する **「いいえ」**：起動中のアプリケーションの処理を続行する
2		**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する
3		**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する **「いいえ」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する
4		**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する

※ それぞれの画面で「詳細」を選択すると、検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。問題要素が6個以上の場合、6個目以降の問題要素名は省略されます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック F18
- リアカバー F53
- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- 卓上ホルダ F30
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- 平型ステレオイヤホンセット P01※2
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※2／P02※2
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホンマイク 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02※3
- 車内ホルダ 01
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 車載ハンズフリーキット 01※4
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- FOMA 補助充電アダプタ 01／02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※2
- スイッチ付イヤホンマイク P001※5／P002※5
- ステレオイヤホンセット P001※5
- マイク付リモコン F01※2
- イヤホンターミナル P001※5
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA室内用補助アンテナ※6
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※6
- 骨伝導レシーバマイク 01※2／02
- 電子辞書データDVD F02

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
※2 F-01Cと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ01が必要です。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 F-01Cを充電するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※5 F-01Cと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ01とイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※6 日本国内で使用してください。

メニュー一覧

- 表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。
- 赤色の文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニュー（下位メニューの一部がお買い上げ時の設定に戻るメニューも含む）です。

■メール

受信BOX	
送信BOX	
未送信BOX	
新規メール作成	
新規デコメアニメ作成	
デコメテンプレート	デコメール
	デコメアニメ
新規SMS作成	
メール／メッセージ問合せ	
SMS問合せ	
メール選択受信	
メール設定	受信設定
	表示設定
	署名編集設定
	定型文／単語登録
	メール／メッセージ問合せ設定
	返信設定
	メール自動返信設定
	メールグループ
	ブログ／動画／SNS投稿先設定
	アドレス・迷惑メール設定
	編集時自動保存設定
	SMS設定
	緊急速報「エリアメール」設定
メール送受信履歴	メール送信履歴
	メール受信履歴

■ｉモード／web

ｉMenu 検索	
Bookmark	
画面メモ	
サイト閲覧履歴	
URL入力	URL入力
	URL入力履歴
ｉチャネル	ｉチャネル一覧
	テロップ表示設定
	ｉチャネル初期化
RSSリーダー	
ツータッチサイト	
ｉモード／web設定	ｉモードブラウザ設定
	フルブラウザ設定
	共通設定
	ｉモード設定確認
	ｉモード設定リセット
検索サービス	
フルブラウザホーム	

■ｉアプリ

ソフト一覧	
ｉアプリコール履歴	
ｉアプリ実行情報	
ｉアプリ設定	ｉアプリ音量
	ソフト情報表示設定
	自動起動設定
	ｉウィジェット設定
	オートGPS優先設定
	ソフトの並べ替え
	照明点灯時間設定
	明るさ調整
	バイブレータ設定
	ツータッチｉアプリ表示
	ｉアプリ省電力設定
	ｉアプリコールダウンロード設定
	ｉアプリについて

■カメラ／TV／MUSIC

カメラ	静止画撮影
	動画撮影
	静止画アルバム
	動画再生
ワンセグ	ワンセグ視聴
	番組表
	録画した番組
	予約／予約リスト
	録画予約履歴
	テレビリンク
	チャンネルリスト
	ユーザ設定

ミュージックプレーヤー	
Music&Videoチャネル	

■データBOX

マイピクチャ	
ミュージック	
Music&Videoチャネル	
ｉモーション・ムービー	
メロディ	
マイドキュメント	
きせかえツール	
マチキャラ	
キャラ電	
ワンセグ	
イルミネーション	
その他	
マイコレクション	

■便利ツール

バーコードリーダー	
電卓	
アラーム	
赤外線／iC通信	赤外線受信
	赤外線全件送信
	iC全件送信
	データ送受信設定
スケジュール	
メモ	
HDMI	
Bluetooth	接続待機
	Bluetooth受信
	Bluetooth全件送信
	機器リスト・接続・切断
	新規機器登録
	Bluetooth電源オン／オフ
	Bluetooth設定
Wi-Fi	クライアントモード（子機）
	アクセスポイントモード（親機）
ケータイデータお預かりサービス	データ確認／ダウンロード
	電話帳等を更新
	画像を更新
	設定情報を更新
	詳細設定／通信履歴
microSD	
使いかたガイド	
ボイスレコーダー	
ウォーキング／Exカウンター	歩数／活動量／カロリー情報
	ウォーキング／Exカウンター設定
電子辞書	
お知らせタイマー	
ワンタッチアラーム設定	
名刺リーダー	
宛名印刷	
定型文／単語登録	定型文
	単語登録
ダウンロード辞書	
ドコモへのお問合せ	ドコモ総合案内・受付
	ドコモ故障問合せ
	海外紛失・盗難等
	海外故障

■電話機能

電話帳	電話帳検索
	電話帳登録
	UIMカード（FOMAカード）操作
	グループ登録
伝言メモ／音声メモ	伝言メモ一覧
	音声メモ一覧
	音声メモ録音
	伝言メモ設定
発着信履歴	着信履歴
	リダイヤル
発着信・通話設定	迷惑電話ストップ
	番号通知お願いサービス
	発信者番号通知
	通話中の着信動作
	発信詳細設定
	着信詳細設定
	通話中詳細設定
	イヤホン機能設定
	着信拒否設定
	着信通知
	電話発着信設定
	メモリ着信拒否／許可
テレビ電話設定	テレビ電話発信設定
	テレビ電話着信設定
	パケット通信中着信設定
	テレビ電話動作設定
	テレビ電話画像選択
	テレビ電話切替機能通知
	テレビ電話使用機器設定

通話時間・料金	通話料金表示
	通話時間表示
	通話料金自動リセット設定
	通話料金上限通知
	上限通知アイコン消去
着もじ	メッセージ作成
	メッセージ表示設定
2in1	2in1モード切替
	電話帳2in1設定
	モード別待受画面設定
	番号別発着信設定
	2in1機能OFF
	着信回避設定
メロディコール	
留守番電話サービス	開始
	呼出時間
	停止
	設定確認
	メッセージ再生
	設定
	メッセージ問合せ
	件数増加鳴動設定
	表示消去
	テレビ電話設定
その他ネットワークサービス	転送でんわ
	キャッチホン
	英語ガイダンス
	遠隔操作設定
	マルチナンバー
	デュアルネットワーク
	追加サービス
	OFFICEED
イミテーションコール	イミテーションコール開始
	イミテーションコール設定

■本体設定

画面・ディスプレイ	きせかえツール設定
	待受画面設定
	カラーテーマ設定
	各種画面設定
	マチキャラ設定
	メニュー設定
	背面自動点灯設定
	プライバシービューレベル設定
音／バイブ／マナー	着信音設定
	その他音設定
	音量設定
	バイブレータ設定
	マナーモード選択
	音楽再生音優先設定
	マチキャラおしゃべり設定
照明·イルミネーション	照明設定
	イルミネーション設定
	キーイルミネーション設定
文字表示／入力	文字サイズ設定
	フォント選択
	文字入力設定
	Select language
	マルチリンガル利用設定
	着信ひかえめ設定
時計	日付時刻設定
	時計表示設定
	自動電源ON／OFF
	時報設定
	端末リフレッシュ設定

ロック・セキュリティ	ロック
	プライバシーモード
	セキュリティ設定
	セキュリティランプ設定
	親子モード
	スキャン機能
	パスワードマネージャー
	microSDパスワード設定
	UIMカード（FOMAカード）設定
	着信拒否設定
	ICカードロック
	電話／メール着信時設定
電池	ecoモード設定
	電池残量
	電池アイコン設定
外部接続	USBモード
	HDMI
	Bluetooth
	Wi-Fi
	フェムトセル
	印刷設定
	データ送受信設定
	バックアップ／復元

その他設定	セルフモード
	初期設定
	データ一括削除
	各種設定リセット
	ソフトウェア更新
	リモート機能設定確認
	メモリ確認
	サイドキー長押し設定
	モーションセンサー設定
	タッチON／OFF設定
	温度・湿度センサー設定
きせかえ／ライフスタイル	きせかえツール
	トータルカスタマイズ
	ライフスタイル設定
	マナーサポート設定

■地図／海外

地図	
ナビ	
イマドコサーチ	イマドコかんたんサーチ
	イマドコサーチ
ｉエリア―周辺情報―	
GPSアプリ一覧	
現在地確認／通知	現在地確認
	現在地通知

地図・GPS設定／履歴	位置履歴
	地図設定
	GPSボタン設定
	位置提供可否設定
	オートGPS
	測位モード設定
	現在地通知先一覧
	サービス利用設定
	サービス利用／接続先設定
	点灯色／鳴動音設定
海外ネットワークサーチ	3G/GSM切替
	ネットワークサーチ設定
	優先ネットワーク設定
	オペレータ名表示設定
	在圏状態表示
	再検索アイコン表示設定
海外設定	お問合せ（海外）
	ローミング時着信規制
	ローミング着信通知
	ローミングガイダンス
	国際ダイヤルアシスト
	ｉモードサービス利用設定
	メール／メッセージ利用設定
	ネットワークサービス
海外ご利用ガイド	

■ｉコンシェル

ｉコンシェル

■プロフィール

プロフィール

■おサイフケータイ

ICカード一覧	
DCMX	
トルカ	
ICカードロック設定	ICカードロック
	ICカードロック時動作設定
	ICカードオートロック設定
	ICカードロック解除予約
	電源OFF時ICロック設定
設定	ICカードからトルカ取得
	ワンセグからトルカ取得
	トルカ重複チェック
	トルカ自動読取チェック
	トルカ自動表示
	トルカサウンド設定
ICオーナー確認	
ICオーナー変更	
ｉモードで探す	

主な仕様

■本体

品名		F-01C
サイズ		高さ約111mm×幅約51mm× 厚さ約13.9mm（最厚部：約18.6mm）
質量		約125g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約670時間 移動時（自動）：約460時間 移動時（3G固定）：約480時間
	GSM	静止時（自動）：約330時間
連続通話時間※2、3、4	FOMA／3G	音声電話時：約250分 テレビ電話時：約130分 （代替画像表示時：約160分）
	GSM	約320分
ワンセグ視聴時間※2、5		約330分 （ワンセグecoモード時：約360分）
充電時間※6		ACアダプタ：約150分 DCアダプタ：約150分
ディスプレイ部	方式	ディスプレイ：TFT16,777,216色 背面ディスプレイ：有機EL1色
	サイズ	ディスプレイ：約3.4inch 背面ディスプレイ：約1.4inch
	画素数	ディスプレイ：409,920画素（480ドット×854ドット） 背面ディスプレイ：11,136画素（174ドット×64ドット）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/2.5inch
	有効画素数	約1,320万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約1,280万画素
	ズーム（デジタル）	最大約35.1倍（静止画）、最大約16.0倍（動画）
記録部	静止画記録枚数※7	最大約1,300枚（お買い上げ時）
	静止画連続撮影	2～7枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※8	最大約34分（本体保存時） 最大約60分（microSDカード2GB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	最大約35分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約640分（microSDカード2GB保存時）
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約1,312分※9 着うたフル®：約5,020分※9、10 WMAファイル：約4,730分※10 Music&Videoチャネル（音声）：約5,020分※10 Music&Videoチャネル（動画）：約347分
保存容量	着うた®※11／着うたフル®	約114MB
無線LAN	方式	IEEE802.11b、IEEE802.11g準拠

※1 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

※3 ｉモード通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、オートGPS機能の利用、ワンセグの視聴や録画、Wi-Fiの利用、Bluetooth接続などを行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※5 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
※6 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。
※7 静止画記録枚数とは、サイズ選択が「QVGA（320×240）」、画質選択が「NORMAL」、ファイルサイズが25Kバイトの場合です。
※8 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。サイズ選択が「QCIF（176×144）」、画質選択が「NORMAL」の場合です。撮影する映像によって異なります。
※9 AAC形式のファイルです。
※10 バックグラウンド再生に対応しています。
※11「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■電池パック

品　名	電池パック F18
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	960mAh

保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大2000件	－
ドコモUIMカード電話帳		最大50件	－
きせかえツール※1		最大50件	－
メール※1、2	受信メール	最大2500件	最大2500件
	送信メール	最大500件	最大500件
	未送信メール	最大500件	最大500件
エリアメール		最大30件	－
Bookmark※3		最大200件	－
画面メモ※1、3		最大400件	最大400件
ミュージック※1	着うたフル®	最大100件	－
	うた文字	最大100件	－
ｉアプリ※1、4		最大100件	－
画像※1、5		最大3000件	－
動画／ｉモーション※1		最大200件	－
メロディ※1		最大500件	－
ワンセグで録画したビデオ※1		最大10件	－
メモ・スケジュール※1、6		最大2600件	－

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズや共有している保存領域の使用状況により少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3 ｉモードとフルブラウザの合計件数です。
※4 ｉアプリとメール連動型ｉアプリの合計件数です。メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます。
※5 画像、ワンセグで録画した静止画の合計件数です。
※6 メモ・スケジュール、ｉスケジュール内の予定、ワンセグの視聴／録画予約の合計件数です。視聴／録画予約は合わせて最大100件登録できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-01Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.465W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された局所吸収指針委員会にて審議している段階です。（平成22年9月現在）

Declaration of Conformity

The product "F-01C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.517W/Kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.

This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.492W/kg, and when worn on the body, is 0.453W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F01C).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.

※ In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制／知的財産権

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「キャラ電」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「セキュリティスキャン」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「マルチナンバー」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「マチキャラ」「OFFICEED」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「docomo PRIME series」「かんたんデコメ」「きせかえツール」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「iC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International,Inc.またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite® および Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader Mobile Copyright© 1993-2010 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Document Viewer、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  Copyright© 2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- （フェリカマーク）はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google, Inc.の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2010 All Rights Reserved.
- 「AXISフォント」は株式会社アクシスの登録商標です。また、「AXIS」フォントはタイププロジェクト株式会社が制作したフォントです。
- 本機には、Symbian Foundation Limitedよりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。SymbianはSymbian Foundation Limitedの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- Uni-Typeは、株式会社リムコーポレーションと千葉大学工学部との共同研究によって開発されたユニバーサルデザインの書体です。Uni-Typeは、株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
- 「丸ゴシック」、「レイミン」、「丸フォーク」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。また「レイミン」、「丸フォーク」の名称は、同社の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WMM™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- Blu-ray Discおよびロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- DVM™は、DiMAGIC（ダイマジック社）のマイクロホン指向性制御技術の商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright© 2006-2010, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 文字認識エンジンは、オムロン（株）のMobile OmCRを使用しています。
- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。ライセンスに関する詳細は、付属CD-ROMの「Apache Licenseについて」内の「Apache_License_Version_2.0.txt」をご参照ください。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。
- 本製品に搭載しているHMM音声合成技術では、修正BSDライセンスを使用しています。

  \---
  The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)
  hts_engine API developed by HTS Working Group
  http://hts-engine.sourceforge.net/
  \---

  Copyright© 2001-2010 Nagoya Institute of Technology
  Department of Computer Science
  2001-2008 Tokyo Institute of Technology Interdisciplinary
  Graduate School of Science and Engineering
  All rights reserved.
  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
  - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
  - Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
  - Neither the name of the HTS working group nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

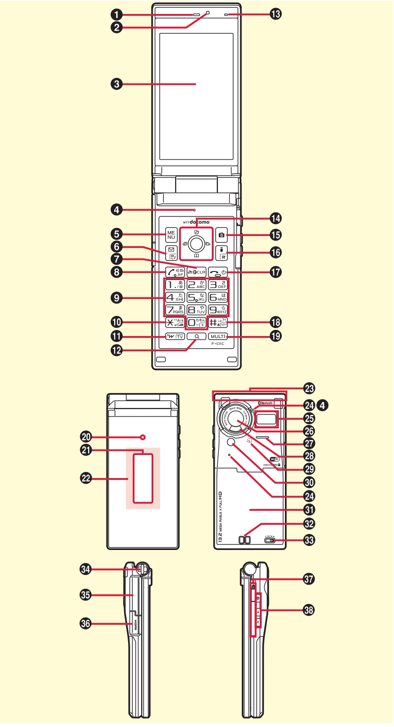
  THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN

ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 付属の電子辞書データDVD F02には、以下の辞書データ（25辞書＋6分野別検索）を収録しています。
〈岩波書店〉
広辞苑 第六版 DVD-ROM版+6分野別検索（慣用句・漢字・人名・地名・作品名・季語）（新村出編）
〈研究社〉
リーダーズ英和辞典 第2版（松田徳一郎編）
新和英中辞典 第5版（Martin Collick、David P. Dutcher、田辺宗一、金子稔編）
〈自由国民社〉
現代用語の基礎知識 2010年版（自由国民社編）
〈大修館書店〉
新漢語林MX（鎌田正、米山寅太郎著）
みんなで国語辞典② あふれる新語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
KY式日本語（北原保雄編著／「もっと明鏡」委員会編集）
問題な日本語（北原保雄編（北原保雄、小林賢次、砂川有里子、鳥飼浩二、矢澤真人執筆））
築地魚河岸ことばの話（生田與克、冨岡一成著）
〈三省堂〉
デイリー日仏英・仏日英辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英・独日英辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日中英・中日英辞典（池田巧監修／三省堂編修所編）
デイリー日西英・西日英辞典（上田博人、アントニオ・ルイズ・ティノコ監修／三省堂編修所編）
デイリー日伊英・伊日英辞典（藤村昌昭監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英・韓日英辞典（福井玲・尹亭仁監修／三省堂編修所編）
デイリー日仏英3か国語会話辞典（村松定史監修／三省堂編修所編）
デイリー日独英3か国語会話辞典（渡辺学監修／三省堂編修所編）
デイリー日中英3か国語会話辞典（池田巧・胡興智監修／三省堂編修所編）
デイリー日韓英3か国語会話辞典（尹亭仁監修／三省堂編修所編）

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Part names



1. Earpiece
2. Light sensor (Sense ambient luminance to automatically adjust brightness of the display)
3. Display (Touch panel)
4. Microphone
5. [MENU] MENU key
6. [✉] Mail/Character key
7. [CLR] ch/Clear key
   Display i-Channel, or return to the previous screen.
8. [↗] Start a voice call key
9. [0] - [9] Keypads
10. [✱] * /Public mode (Drive mode) key
11. [i-Widget/TV] i-Widget/TV key
12. [🔍] Search key (Activate quick search)
13. Temperature/Humidity sensor (Sense temperature/humidity)
14. Multi-cursor key (Move the cursor or operate menu item)
    - [●] : Perform an operation.
    - [▲] : Display Schedule, or adjust volume.
    - [▼] : Display Phonebook, or adjust volume.
    - [◀] : Display Received calls.
    - [▶] : Display Redial.

    * 8-direction operations are available depending on functions.
15. [📷] Camera key
16. [iα] i-mode/i-αppli key
17. [⌒] Power/End key
18. [#] # /Silent mode key
19. [MULTI] Multitask key (Perform another function)
20. Charging light
21. Sub-display
22. Indicator light
23. FOMA antenna (Built-in)
24. Rear microphone (for shooting moving picture or Voice recorder)
    * Do not cover it during operation.
25. Fingerprint sensor (Authenticate fingerprints)
26. Camera
27. Speaker
28. Infrared data port
29. [FeliCa] mark (Osaifu-keitai, iC transmission, etc.)
30. Light/Shooting light
31. Back cover
    * Remove the back cover and the battery pack to access the docomo UIM slot and the microSD card slot.
32. Charging jack
33. Back cover lever
    * To maintain waterproofness/dustproofness, lock the cover before using.
34. Strap opening
35. External connection jack
    Connect optional AC adapter, DC adapter, FOMA USB Cable with Charge Function 02, Stereo Earphone Set 01 etc.
36. HDMI connection jack
37. 1Seg antenna
    * Pull out when watching 1Seg.
38. [📷] Side camera key
    [▲][▼] Side up/down keys

Viewing display

(Ample)⇔ (Low) : Battery level
(Strong)⇔ (Weak), 圏外 : Signal strength
: Connecting to i-mode
: Connecting Wi-Fi
: Infrared communication in operation
: Bluetooth ON
: Handsfree ON
: eco mode ON
: Positioning with GPS
: Location request setting
: Unread i-mode mail exists
: Unreceived i-mode mail exists in the i-mode Center
: Auto-send mail exists
: During i-αppli operation
: Alarm is set
: Silent mode ON
: In Public mode (Drive mode)
: Record message ON
: IC card lock ON
: microSD card is inserted
: Pedometer/ACT monitor is set
: Software update notice
: New arrival

Character Entry

Switching input modes

On the character entry screen, [✉] ▶ Select an input mode

Entering/Converting (5-touch method)

The characters are inserted at the cursor position.
[0] - [9] : Change input characters by input mode and pressing keys several times
[↩] : Return to the previous character
[CLR] : Delete characters
[✂] : Add voiced/semi-voiced sound, switch upper/lower case

Entering pictograms

On the character entry screen, [📷] ▶ Select pictogram

Entering smileys

On the character entry screen, [MENU] ▶ [5][0][3] ▶ Select a smiley type ▶ Select a smiley

Lock/Security

Changing the terminal security code

[MENU] ▶ [8][6][3][1] ▶ Authenticate ▶ Enter a new terminal security code ▶ Enter the new code in New terminal security code-check field ▶ [📷] [Save]

Changing PIN/PIN2 code

[MENU] ▶ [8][6][9] ▶ [1] or [2] ▶ Authenticate ▶ Enter the current PIN/PIN2 code ▶ Enter a new code in New PIN/PIN2 code field and in New PIN/PIN2 code - check field ▶ [📷] [Save]

Registering fingerprints for authentication

[MENU] ▶ [8][6][3][2] ▶ Authenticate ▶ "OK" ▶ Slide your fingertip by following the instruction message ▶ Enter the name to register (up to 10 two-byte (20 one-byte) characters) ▶ [📷] [Save]

Activating All lock

All menu operations are locked.
[MENU] ▶ [8][6][1][2] ▶ Authenticate
To unlock, enter the security code.

Starting/Canceling Self mode

All functions including communication are disabled.
[MENU] ▶ [8][9][1] ▶ [1] or [2] ▶ "Yes"

Activating/Deactivating Touch panel lock

Turn off the display in flip style and lock touch operation.
In flip style, [▣]

Sound/Screen Setting

Setting Call ring alert

MENU ▶ 8 2 1 1 1 ▶ Set required items ▶ [camera key] [Set]

Image/i-αppli

<Example> Setting an image

MENU ▶ 8 1 2 1 ▶ 1 or 2 ▶ 1 ▶ "Yes" ▶ Select a folder ▶ Move the cursor to an image ▶ [camera key] [OK] ▶ "Yes"

Activating/Deactivating Privacy view

MULTI (1 sec. or more)

Setting Light alert

<Example> Setting Light alert for incoming call/ message

MENU ▶ 8 3 2 2 1 ▶ Set required items ▶ [camera key] [Set]

Kisekae Tool

<Example> Setting Kisekae Tool stored by default

MENU ▶ 5 7 3 ▶ Move the cursor to a Kisekae Tool ▶ [camera key] [Setting] ▶ "Yes"

Voice/Videophone Calls

Entering a phone number to make a call

1 Enter a phone number ▶ [start key] (voice calls) or [camera key] (videophone calls)
   [● key] : Put a call on hold/Cancel the hold
2 When ending the call, [end key]

Using Redial/Received calls to make a call

[Redial key] (Redial) or [Received calls key] (Received calls) ▶ Move the cursor to a party ▶ [start key] (voice calls) or [i-αppli key] (videophone calls)

Using phonebook to make a call

[phonebook key] ▶ Search the phonebook ▶ Move the cursor to an entry ▶ [start key] (voice call) or [i-αppli key] (videophone call)

Receiving a call

1 Receive
   While receiving a call, [end key] : On hold
2 [start key] (voice/videophone calls) or [i-αppli key] (videophone calls)
3 When ending the call, [end key]

Phonebook

Adding to FOMA terminal phonebook

[phonebook key] (1 sec. or more) ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ [camera key] [Save]

Registering UIM phonebook

MENU ▶ 7 1 3 ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ [camera key] [Save]

Editing FOMA terminal phonebook

[phonebook key] ▶ Search the phonebook ▶ Move the cursor to an entry ▶ MENU ▶ 3 1 ▶ Edit ▶ [camera key] [Save] ▶ "Overwrite" or "New entry"

Searching FOMA terminal phonebook

MENU ▶ 7 1 1 ▶ 1 - 7

Mail

Creating/Sending i-mode mail

[✉] ▶ [✉] [Write] ▶ Enter receiver, subject and message text ▶ [📷] [Send]

Sending Deco-mail

On the mail creation screen, "Msg" ▶ [iα] [Decorate] ▶ Select a decoration icon ▶ Decorate ▶ Edit the mail ▶ [📷] [Send]

File attachment

On the mail creation screen, select file attachment field ▶ Select a file type ▶ Attach a file ▶ Edit the mail ▶ [📷] [Send]

Displaying a mail in the mailbox

[✉] ▶ [1] - [3] ▶ Select a folder ▶ Select a mail

Checking new mail/message

[✉] (1 sec. or more)

Camera

Still camera

[📷] ▶ Point the camera at an object, [●][📷] or [side key]

Movie camera

[side key] ▶ Point the camera at an object, [●] [Rec/Record] or [side key] ▶ When you want to stop shooting, [●] [Stop] or [side key] ▶ [1] Save

Displaying images

[MENU] ▶ [5][1] ▶ Select a folder ▶ Select data

Playing moving pictures

[MENU] ▶ [5][4] ▶ Select a folder ▶ Select data

Operations while playing moving picture

[up/down] or [▲][▼] : Adjust volume
[left/right] **(1 sec. or more)** : Rewind/Fast forward play
[●] : Pause/Play/Play from the beginning (In stop)
[iα] : Stop

1Seg

Creating a channel list using preset (for the first-time)

[MENU] ▶ [4][2][7] ▶ "Yes" ▶ "Use preset" ▶ Select an area ▶ "Yes"

Setting a channel list

[MENU] ▶ [4][2][7] ▶ Move the cursor to Channel list ▶ [iα] [Set]

Watching 1Seg

[TV] (1 sec. or more)

Operations while watching

The followings are operations for when Switch active operations is set to "OFF".
[✓] : Switch watching screen
[✉] [Low]/ [iα] [High] or [▲][▼] : Adjust volume
[side key] **(1 sec. or more)** : Start/Stop recording video
[side key] : Record still image
[MENU] ▶ [0] : Display key function help

Reserving watching/recording

[MENU] ▶ [4][2][4] ▶ [MENU] ▶ [1] ▶ Select an entry method ▶ [📷] [Save] ▶ [📷] [Save]

Playing a recorded program

[MENU] ▶ [5][0] ▶ Select a folder ▶ Select data

Music&Video Channel/MUSIC Player

Playing Music&Video Channel

[MENU] ▶ [4][4] ▶ Select a program

Playing a tune with MUSIC Player

[MENU] ▶ [4][3] ▶ Select a folder or playlist ▶ Select music data

Operations while playing

[●] or [📄] : Pause/Play
[▲▼] or [▲][▼] : Adjust volume
[◀▶] **(1 sec. or more)** : Rewind/Fast forward
[◀] or [▲] **(1 sec. or more)** : Move to the beginning of chapter/track*1
[▶] or [▼] **(1 sec. or more)** : Move to the next chapter/track
[📄] twice quickly : Save to Quick playlist*2

*1 If playing time is less than 2 seconds, move to the previous chapter/tune.
*2 Only valid for MUSIC Player.

Network Service

Voice Mail service

[MENU] ▶ [7][0] ▶ Perform the following operations
Activate : [1] ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter ring time
Deactivate : [3] ▶ "Yes"
Play messages : [5] ▶ [1] or [2] ▶ "Yes" ▶ Follow the guidance to operate

Call Waiting Service

[MENU] ▶ [7][*][2] ▶ [1] (Activate) or [2] (Deactivate) ▶ "Yes"
During a voice call, [✆] : Answer a voice call from the second party
[iα] : Switch to another party

Call Forwarding Service

[MENU] ▶ [7][*][1] ▶ Perform the following operations
Activate : [1] ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter a phone number ▶ [📷] [Complete] ▶ "Yes" ▶ Enter ring time
Deactivate : [2] ▶ "Yes"

Other Main Functions

Function	Operating procedure
Start/Cancel Public mode (Drive mode)	[✂] (1 sec. or more)
Display iMenu	[iα]
Display i-αppli folder list	[iα] (1 sec. or more)
Display Received calls/Redial	[◀] / [▶]
Start/Cancel IC card lock	[▶] (1 sec. or more)*
Activate/Deactivate Side key hold	[MENU] (1 sec. or more)
Display Schedule	[▲▼]
Display Alarm list	[▲▼] (1 sec. or more)
Start/Cancel Silent mode	[#] (1 sec. or more)
Start i-Widget	[W/TV]
Start quick search	[🔍]
New Task start menu	[MULTI]

* Authentication is required to cancel.

Emergency call

Service	Phone No.
Police	110 (no area code)
Fire and ambulance	119 (no area code)
Marine emergencies	118 (no area code)

Overseas use

Refer to "Mobile Phone User's Guide [International Services]", DOCOMO International Services website and "海外ご利用ガイド (Overseas usage guide)" preinstalled in My Document of Data Box (in Japanese only).

Making a call/videophone call

- When making a call to WORLD WING user, the call is forwarded internationally from Japan even when staying in the same country. Enter "+" and Japan's country code "81".

International call (including to Japan) : [0] (1 sec. or more) ▶ Country code ▶ Enter a phone number without the leading "0" of the area code (City code) ▶ [call] (voice calls) or [camera] (videophone calls)

Call inside the country you stay : Enter a phone number ▶ [call] (voice calls) or [camera] (videophone calls) ▶ "No, use original"

Receiving a call/videophone call

A call is received ▶ [call] (voice calls) or or [videophone] (videophone calls)

Setting after returned to Japan

When FOMA terminal is turned ON after returning to Japan but the terminal is not automatically connected to FOMA network, set network search mode to "Auto", and 3G/GSM setting to "AUTO".

Inquiries

Please check on the number before dialing.

General Inquiries <docomo Information Center>

<In English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean>

0120-005-250 (toll free)

<In Japanese only>

No prefix 151 (toll free)

* Available only from mobile phones and PHSs.

0120-800-000 (toll free)

Repairs

<In Japanese only>

No prefix 113 (toll free)

* Available only from mobile phones and PHSs.

0120-800-000 (toll free)

Omakase Lock

* If you are a docomo Premier Club member, the service is available any number of times with no commission. If you are not a member, the charge for the service occurs (however, you are not charged if you subscribe to this service at the same time as service interruption or during interruption.).

Setting/Canceling Omakase Lock

<In Japanese only>

0120-524-360

Available 24 hours a day (open all year round)

* Unavailable from part of IP phones.

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas

<docomo Information Center>

(24 hours)

● **From DOCOMO mobile phone**

International call access code for the country you stay **-81-3-6832-6600*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-01C, you should dial the number +81-3-6832-6600. (Press [0] for 1 sec. or more to enter "+".)

● **From land-line phone <Universal number>**

Universal number international prefix **-8000120-0151***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas

<Network Support and Operation Center>

(24 hours)

● **From DOCOMO mobile phone**

International call access code for the country you stay **-81-3-6718-1414*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-01C, you should dial the number +81-3-6718-1414. (Press [0] for 1 sec. or more to enter "+".)

● **From land-line phone <Universal number>**

Universal number international prefix **-8005931-8600***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

索引

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　iMenu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーも一緒に携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

・航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

・運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** （無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** （無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-01Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池は
NTTドコモまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。

VEGETABLE OIL INK

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

'10.10（2版）
CA92002-6160

F-01C
パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、F-01Cでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'10.10（1版）
CA92002-6165

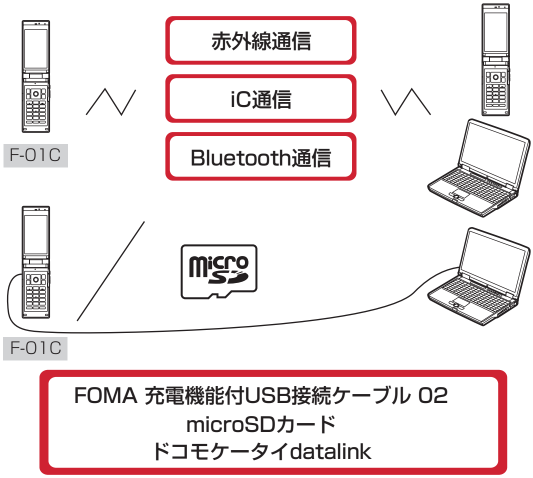
データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信は利用できません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

❖データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。



❖パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarionⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。
※ Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
※ 受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

❖64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBケーブル接続の場合：USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠） Bluetooth接続の場合：ダイヤルアップネットワーキングプロファイルに対応する Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRまでに準拠 Wi-Fi接続の場合：無線LAN標準規格IEEE 802.11bまたはIEEE 802.11gに準拠 ディスプレイ解像度1,024×600ドット（1,024×768ドット※）以上、High Color16ビット以上を推奨
OS（各日本語版）	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上　Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版1GB以上、64ビット版2GB以上
ハードディスク容量	5MB（10MB※）以上の空き容量
Webブラウザ※	Internet Explorer 6.0以上
メールソフト※	WindowsメールおよびOutlook Express 6.0

※ ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境です。

- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご覧ください。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer7.0以降（Windows XPの場合は、Microsoft Internet Explorer6.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①Windows 7、Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows XPのとき：「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して「OK」をクリック
  ＜CD-ROMドライブ名＞：￥index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によるもので、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
  ※ お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

◆必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）※
- 付属のCD-ROM「F-01C用CD-ROM」

※ USB接続の場合

✔お知らせ

- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◆ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

❖ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❖ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、FirstPass PCソフトを利用します。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
サービス詳細：http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/firstpass/
ダウンロード：http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/utility/firstpass/index.html

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること
- Bluetooth接続の場合は、パソコンがダイヤルアップネットワーキングプロファイルに対応するBluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRまでに準拠していること
- Wi-Fi接続する場合は、パソコンが無線LAN標準規格IEEE 802.11bまたはIEEE 802.11gに準拠していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

◆CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。

❖ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしておく必要があります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USBケーブルが必要です。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

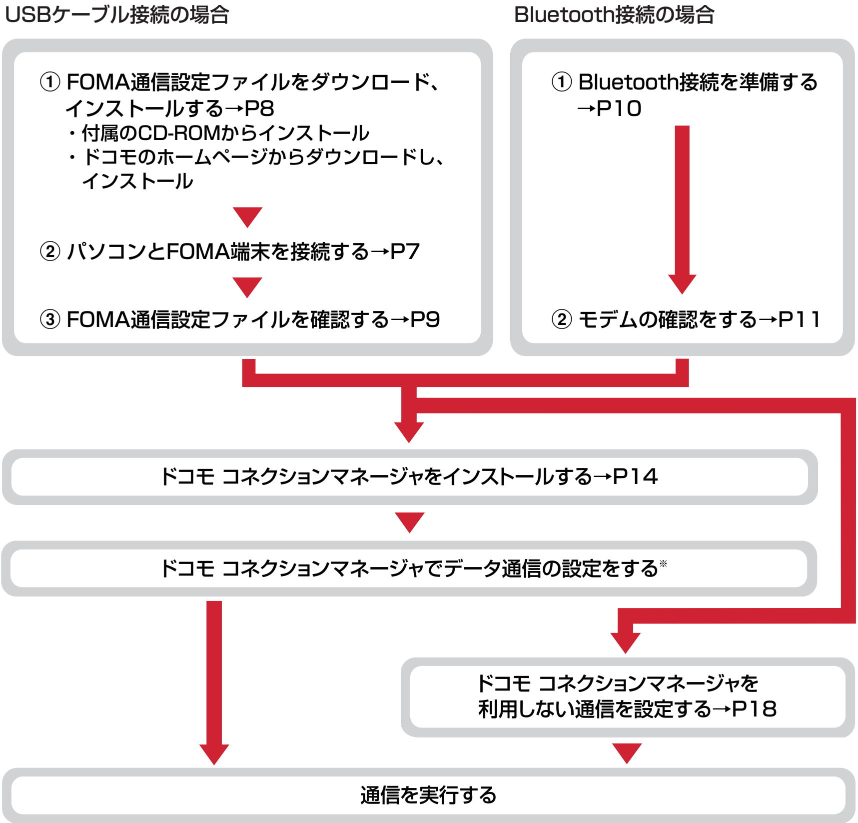
FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

▼

データ転送

データ通信の準備の流れ

パソコンとUSBケーブル接続、Bluetooth接続、Wi-Fi接続をして、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。



※ ドコモ コネクションマネージャの設定については、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

Wi-Fi接続の場合（パケット通信のみ）

FOMA端末をアクセスポイントモードにする
・アクセスポイントモードについては、FOMA端末の「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）をご覧ください。

▼

接続の設定をする→P27

▼

通信を実行する

❖FOMA通信設定ファイル

USBケーブルでパソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

❖Bluetooth接続を利用する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続してパケット通信または64Kデータ通信を行います。
• 詳しくは、「Bluetooth接続を準備する」をご覧ください。→P10

❖Wi-Fi接続を利用する

Wi-Fi対応パソコンとFOMA端末をWi-Fi接続してパケット通信を行います。
• 詳しくは、「Wi-Fi対応パソコンに接続する」をご覧ください。→P27

❖ドコモ コネクションマネージャ

付属のCD-ROMからドコモ コネクションマネージャをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

◆インストール／アンインストール前の注意点

• 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。
※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
　例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。
• FOMA通信設定ファイルやドコモ コネクションマネージャのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
• 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、次の操作を行います（Windows XPでは表示されません）。
  - Windows 7：「はい」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
  - Windows Vista：「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
• パソコンの操作方法または管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

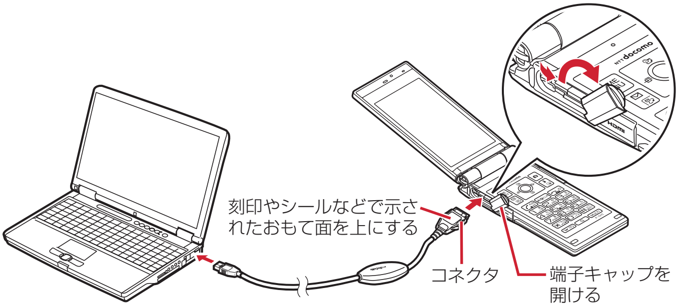
ここでは取り付け／取り外し方法を説明します。FOMA通信設定ファイルのインストールは行いません。→P8

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続すると、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されますが、「キャンセル」をクリックして終了してください。
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）での場合を例に説明しています。

◆USBケーブルを取り付ける

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

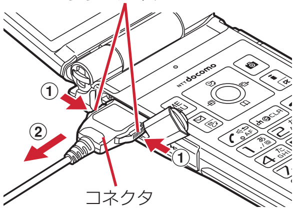
2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む



- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面にが表示されます。

❖取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）



2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

✔お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

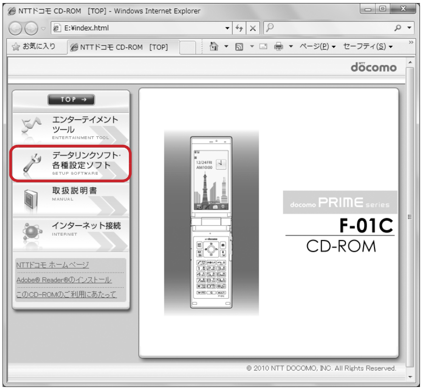
FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6
- USB接続ケーブルを利用しない場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは必要ありません。
- 操作5でFOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されるまで、FOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows 7にインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリック



3 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の「インストール」をクリックし、表示されるウィンドウから「F01Cst.exe」アイコンをダブルクリック

4 「インストール開始」をクリック

5 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

6 インストール完了画面で「OK」をクリック

「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール→P14

◆FOMA通信設定ファイルを確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows 7で確認するとき

1 (スタート)→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック

Windows Vistaのとき

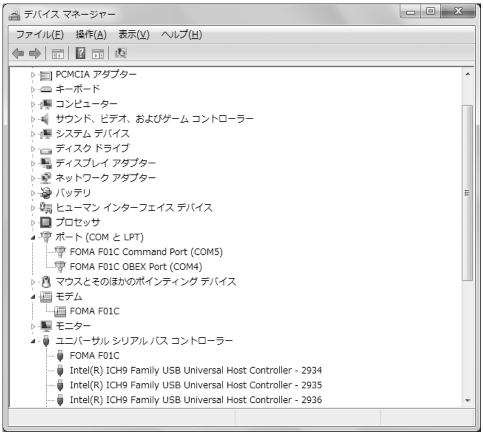
(スタート)→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

Windows XPのとき

①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック
②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。
  表示される順番はOSにより異なります。
  -ポート（COMとLPT）：
  FOMA F01C Command Port（COMx）※
  FOMA F01C OBEX Port（COMx）※
  -モデム：FOMA F01C
  -ユニバーサルシリアルバスコントローラーまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：FOMA F01C
  ※xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。



◆FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaでアンインストールするとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「プログラム」カテゴリ内にある「プログラムのアンインストール」を順にクリック

Windows XPのとき
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

2 「FOMA F01C USB」を選択して「アンインストールと変更」（Windows XPの場合は「変更と削除」）をクリック

3 「FOMA F01C Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

4 「ドライバを削除しました」画面が表示されたら「OK」をクリック

✔お知らせ

- 削除画面で「FOMA F01C USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P8

ダイヤルアップ通信サービス

Bluetooth®接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

- パソコンの操作方法については、ご使用になるパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末がBluetooth接続待機状態になると待受画面に（青）が表示されます。FOMA端末とパソコン間のBluetooth接続が成功すると（青）が点滅します。

◆FOMA端末にパソコンを登録する

本FOMA端末に初めてBluetooth接続するパソコンはFOMA端末に登録します。

- パソコンの環境によっては、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。

1 FOMA端末でMENU 6 8 1

登録待機中になり、待受画面に戻ります。

- 5分経過しても接続がない場合は、自動的に中止されます。

2 パソコンでFOMA端末の検索と機器登録をする

- FOMA端末が登録待機中に行います。
- パソコンの取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、また「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されている場合があります。

3 FOMA端末に接続確認画面が表示されたら「はい」を選択

4 登録の確認画面が表示されたら「はい」を選択

Bluetoothパスキーを入力する場合

FOMA端末でBluetoothパスキー（半角数字4～16桁）を入力して● ［決定］

- FOMA端末とパソコンで同じBluetoothパスキーを入力します。
- 通常接続機器（オーディオ）設定の確認画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。
- FOMA端末にパソコンが機器登録され、登録が完了すると待受画面に戻り、接続待機状態になります。必要に応じて、パソコンで接続の設定・操作を行います。

✔お知らせ

- パソコンにFOMA端末を登録する場合、パソコンが複数の機器を検索したときは、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索したときは、機器アドレスで判別してください。

◆登録済みのパソコンと接続する

FOMA端末に登録済みのパソコンとBluetooth接続する場合は、FOMA端末を接続待機状態にします。

1 FOMA端末でMENU 6 8

2 ✉ ［接続種別］→「ダイヤルアップ（DUN）」を☑にして📷 ［確定］

接続待機中になり、待受画面に戻ります。

- 接続中のBluetooth機器がある場合は、接続中の機器を切断して接続待機するかどうかの確認画面が表示されます。

3 パソコンで接続の操作をする

◆モデムの確認をする

パソコンでご使用になるモデムのモデム名や、ダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認します。

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows 7で確認するとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック

Windows Vistaのとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

Windows XPのとき

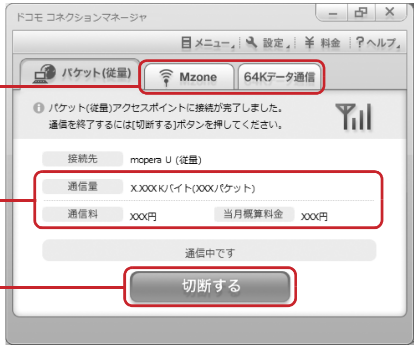
①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック
②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→モデム名またはCOMポート番号を確認

- 「モデム」、「ポート（COMとLPT）」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されます。

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ドコモ コネクションマネージャは、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uへのお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
ここでは、ドコモ コネクションマネージャのインストールまでを説明します。



- FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
  詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

✔お知らせ

従量制データ通信（ｉモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について
- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
  なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフルの定額対象外通信となりますのでご注意ください。

定額データプランのご利用について
- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

moperaのご利用について
- moperaの接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

◆ ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。
- FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意してください（Bluetooth接続の場合は、USBケーブルは必要ありません）。
- サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
- ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P13「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

❖Internet Explorerの設定を変更する

• ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで変更するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック

Windows XPのとき
「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック

3 「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択

4 「OK」をクリック

❖ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

• mopera Uかんたんスタート
• Uかんたん接続設定ソフト
• FOMA PC設定ソフト
• FOMAバイトカウンタ

また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（ドコモ公衆無線LANサービス）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

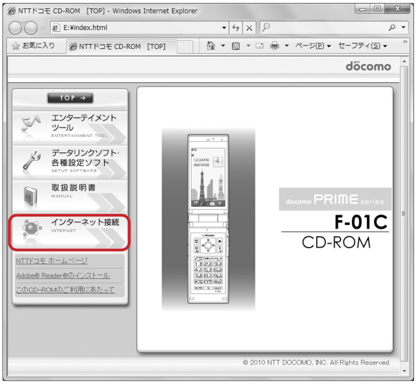
• U公衆無線LANユーティリティソフト
• ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
• ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

◆ドコモ コネクションマネージャをインストールする

〈例〉Windows 7にインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 「インターネット接続」をクリック



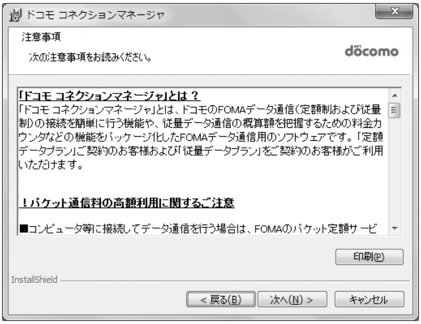
3 「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作③にある「インストール」をクリック

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

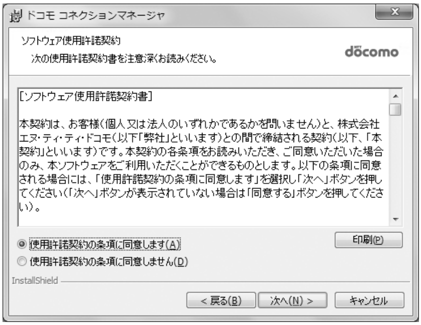
- Windows XPでMSXML6・Wireless LAN APIのインストールの確認画面が表示された場合は「Install」をクリックし、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールが始まります。

4 「次へ」をクリック

5 注意事項を確認して「次へ」をクリック

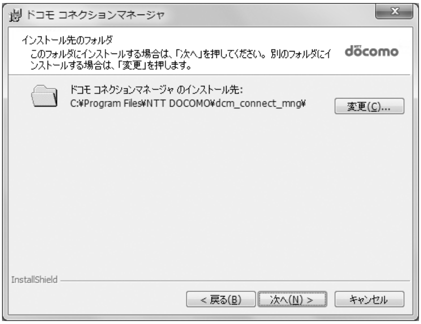


6 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック



7 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

- インストール先を変更する場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定してください。



8 「インストール」をクリック

インストールが始まります。

9 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。

✔お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

◆ドコモ コネクションマネージャを起動する

- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで設定するとき

1 **(スタート)→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック**

Windows XPのとき

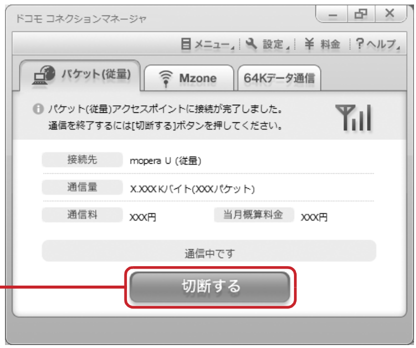
「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。
初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

- 設定ウィザードに従い、インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
  設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
  詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

✔お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
- OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。



接続／切断ボタン

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

- パケット通信でmopera UなどHIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、ドコモ コネクションマネージャを利用して設定してください。

◆ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

- データ通信の準備の流れ→P5
- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

接続先(APN)を設定する※→P18
・接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

↓

発信者番号の通知/非通知を設定する※→P20
・必要に応じて設定してください。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定をする
・Windows 7、Windows Vistaで設定する場合→P21
・Windows XPで設定する場合→P23

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。
Windows 7、Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、Windows Vistaの場合は、各OSに対応したソフトを使って設定してください(ご使用になるソフトの設定方法に従ってください)。

◆接続先(APN)を設定する

❖接続先(APN)と登録番号(cid)

パケット通信の接続先(APN)は、FOMA端末の登録番号(cid)1~10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、2と3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が、4には128K通信で接続するためのAPN「mpr.ex-pkt.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid5~10にAPNを登録します。

- 接続先(APN)については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- USBケーブル接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先(APN)を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSBケーブル接続とBluetooth接続を切り替える場合は、再度接続先(APN)を設定する必要があります。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先(APN)の設定	電話帳の項目
登録番号(cid)	登録番号(メモリ番号)
接続先名(APN)	相手の名前
*99***<cid>#(パケット通信)	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

❖接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

2 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|"

3 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」を選択→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。
- 「接続方法」は次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「FOMA F01C」を選択
  Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」を選択

4 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

5 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"＜PDP_TYPE＞","＜APN＞"」の形式で入力→⏎

＜cid＞：5～10の範囲で任意の番号
＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P35「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

6 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

7 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

◆発信者番号の通知／非通知を設定する

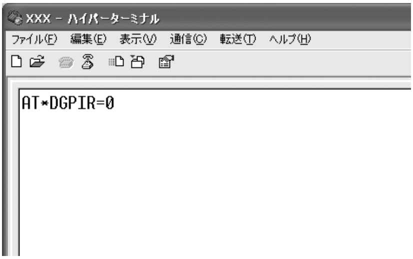
パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
• mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「接続先（APN）の設定」の操作1～4を実行

2 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→↵

<n>：0～2
0：そのまま接続（お買い上げ時）
1：184を付けて接続（非通知）
2：186を付けて接続（通知）
• コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。



3 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

4 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

❖ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。
• ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

◆ダイヤルアップネットワークを設定する

ここでは、パケット通信でmopera UにIP接続する場合を例に説明しています。

- パケット通信でmopera Uまたはmoperaに接続する場合は、電話番号欄に次のように入力してください。
  mopera U（PPP接続）：＊99＊＊＊2＃
  mopera U（IP接続）：＊99＊＊＊3＃
  128K通信（PPP接続）：＊99＊＊＊4＃
  mopera（PPP接続）：＊99＊＊＊1＃
- 64Kデータ通信でmopera U、moperaに接続する場合は、次の電話番号を接続先の電話番号欄に入力してください。
  mopera U：＊8701
  mopera：＊9601

❖Windows 7、Windows Vistaで設定する

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

Windows Vistaのとき
（スタート）→「接続先」を順にクリック

2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

Windows Vistaのとき
「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

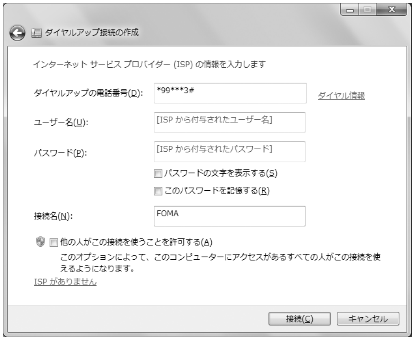
3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき
USBケーブル接続の場合：「FOMA F01C」をクリック
Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」をクリック

4 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

＜cid＞：P19「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<> |



5 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

6 「接続の使用準備ができました」画面で「閉じる」をクリック

Windows Vistaのとき

①「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック
②「閉じる」をクリック

7 「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック

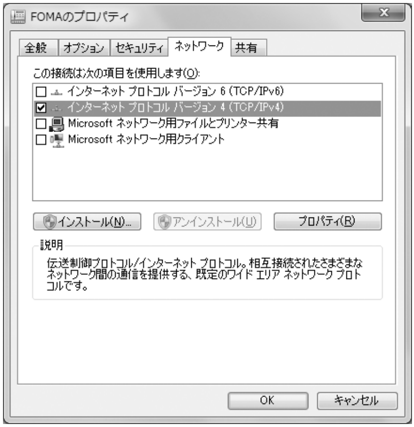
8 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

9 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続の方法」で「モデム-FOMA F01C」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続の方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

10 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（☐）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。



11 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

12 すべての項目を非選択（☐）にして「OK」をクリック

13 「OK」をクリック

通信を実行する→P26

❖Windows XPで設定する

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「新しい接続ウィザード」をクリック

2 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

3 「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

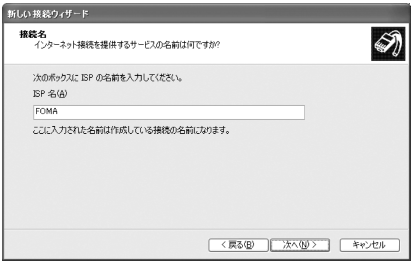
「デバイスの選択」画面が表示されたとき

USBケーブル接続の場合：「モデム-FOMA F01C」を選択して「次へ」をクリック

Bluetooth接続の場合：「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択して「次へ」をクリック

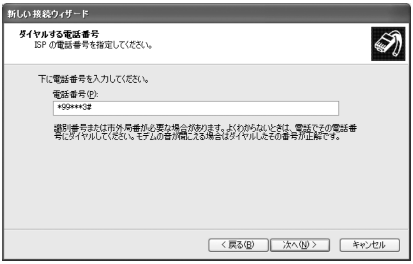
6 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|”



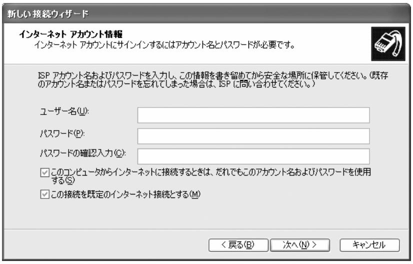
7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

<cid>：P19「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号



8 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。



9 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

10 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

11 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

12 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続方法」で「モデム-FOMA F01C」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

13 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定→「設定」をクリック

- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。

14 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

15 「OK」をクリック

通信を実行する→P26

◆ダイヤルアップ接続で通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows 7のとき

1 **パソコンとFOMA端末を接続**

USBケーブル接続の場合→P7
Bluetooth接続の場合→P11

2 **（スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック**

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック→操作4へ進む

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック→操作4へ進む

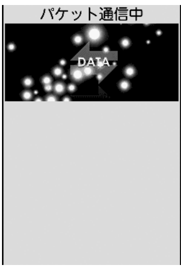
3 **「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック→接続アイコンをダブルクリック**

4 **「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック**

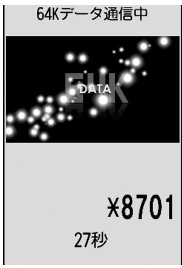
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

✔**お知らせ**

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。



パケット通信のとき



64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 接続アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ、通信が行えます。

❖通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows 7のとき

1 タスクトレイのをクリック→切断する接続名をクリック→「切断」をクリック

Windows Vistaのとき

タスクトレイのを右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

Windows XPのとき

タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリック→「切断」をクリック

Wi-Fi対応パソコンに接続する

公衆無線LANのエリア外でも、FOMA端末をアクセスポイントにすることで、Wi-Fi対応パソコンを接続してパケット通信が行えます。

- あらかじめ、FOMA端末をアクセスポイントモードにしておく必要があります。アクセスポイントモードの設定などについては、FOMA端末の「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）をご覧ください。

〈例〉Windows 7のとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック

2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

Windows Vistaのとき

「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

3 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して「次へ」をクリック

- 初めてワイヤレス接続するときは、「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」画面でワイヤレスアダプタを「ワイヤレスネットワーク接続」に変更し、「次へ」をクリックします。

4 ネットワークの情報を入力して「次へ」をクリック

- FOMA端末の「無線設定」と同じ設定にします。
  - ネットワーク名：FOMA端末に設定されているESSIDを入力します。
  - セキュリティの種類、暗号化の種類：FOMA端末の「認証方式」の情報を設定します。「認証方式」では、「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」の設定を組み合わせた形式で表記していますので、該当する設定を選択してください。なお、「セキュリティの種類」の「パーソナル」は「PSK」と同じ意味です。
  - セキュリティキー（Windows Vistaの場合は「セキュリティキーまたはパスフレーズ」）：WEPキーまたはPSKキーを入力します。

5 「閉じる」をクリック

■ 切断後、再度Wi-Fi接続で通信を実行する場合

Windows 7のとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワークと共有センター」画面で「ネットワークに接続」→表示された画面で接続名をクリック→「接続」をクリックします。

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」→接続先を選択して「接続」をクリックします。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

❖ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATD＊99＊＊＊3#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

❖ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- **オフラインモード**
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- **オンラインデータモード**
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- **オンラインコマンドモード**
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBやBluetoothインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

✔お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1がデュアルモードまたはAモード時はAナンバー、Bモード時はBナンバーで発信します。

◆ATコマンド一覧

- FOMA F01C（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
A/ OK	
AT	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
AT↵ OK	
ATA	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
RING ATA↵ CONNECT	
ATD	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT 460800	
ATE<n>※1	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATE1↵ OK	
ATH	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P28
ATH↵ NO CARRIER	
ATI<n>	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATI0↵ NTT DoCoMo OK	
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATO↵ CONNECT 460800	
ATQ<n>※1	リザルトコードを表示するかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATQ0↵ OK	
ATS0=<n>※1	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS0=0↵ OK	
ATS2=<n>	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS2=43↵ OK	
ATS3=<n>	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS3=13↵ OK	
ATS4=<n>	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示
ATS4=10↵ OK	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n>	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS5=8↵ OK	
ATS6=<n>	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS6=5↵ OK	
ATS8=<n>	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS8=3↵ OK	
ATS10=<n>※1	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS10=1↵ OK	
ATS30=<n>	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS30=0↵ OK	
ATS103=<n>	64Kデータ通信時の着サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS103=1↵ OK	
ATS104=<n>	64Kデータ通信時の発サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATS104=1↵ OK	
ATV<n>※1	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATV1↵ OK	
ATX<n>※1	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATX4↵ OK	
ATZ※3	現在の設定を記録された内容に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
ATZ↵ OK（オフライン時）	
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT%V↵ Ver1.00 OK	
AT&C<n>※1	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定すると、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&C1↵ OK	
AT&D<n>※1	オンラインデータモード時、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&D2↵ OK	
AT&E<n>※1	接続時の速度表示を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&E1↵ OK	
AT&F	現在の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
AT&F↵ OK（オフライン時）	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n>※1 AT&S0↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n>※2 AT＊DGANSM=0↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>]※2 AT＊DGAPL=0,1↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>]※2 AT＊DGARL=0,1↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n>※2 AT＊DGPIR=0↵ OK	パケット通信確立時の発信者番号通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P20 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0※1 AT+CBST=116,1,0↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話 AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n>※1 AT+CDIP=0↵ OK	パケット着信および64Kデータ着信時のサブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP?：「+CDIP:<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER↵ +CEER：36 OK	直前の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P34
AT+CGDCONT※2 →P35	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P35

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN※2	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P35
→P35	
AT+CGEQREQ※2	パケット通信発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P36
→P36	
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK	
AT+CGREG=<n>※1	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：パケット圏外　　stat=1：パケット圏内　　stat=4：不明 stat=5：パケット圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGREG=0↵ OK	
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CGSN↵ 123456789012345 OK	
AT+CLIP=<n>※1	64Kデータ通信着信時、相手の発信者番号をパソコンに表示するかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する m=0：番号を通知しないNW設定 m=1：番号を通知するNW設定　　m=2：不明 AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIP=0↵ OK	
AT+CLIR=<n>※2	64Kデータ通信発信時の発信者番号通知を設定します。 n=0：FOMA端末の発信者番号通知設定に従う　　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=2↵ OK	
AT+CMEE=<n>※1	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P35「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=0↵ OK	
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号（2in1がBモード時はBナンバーを、それ以外はAナンバーを表示） type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+CNUM↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	
AT+COPS=<n>,2,<oper>※2	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　n=1：マニュアル　　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+COPS=0↵ OK	
AT+CPAS	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できるかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CPAS↵ +CPAS：0 OK	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>" AT+CPIN="0000"↵ OK	PIN1コードON時、PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 n=READY：コード入力の要求なし　　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示
AT+CR=<n>※1 AT+CR=0↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　　serv=SYNC：64Kデータ通信 serv=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CR?：現在の設定を表示　　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n>※1 AT+CRC=0↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　　type=SYNC：64Kデータ通信 type=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CRC?：現在の設定を表示　　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n>※1 AT+CREG=0↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：音声圏外　　stat=1：音声圏内　　stat=4：不明 stat=5：音声圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>"※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）を設定します。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n>※1 AT+FCLASS=0↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP↵ +GCAP： +CGSM,+FCLASS, +W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM FOMA F01C OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m>※1 AT+IFC=2,2↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n、m=0：フロー制御を行わない　　n、m=1：XON/XOFFフロー制御を行う n、m=2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：「+IFC：<n>,<m>」の形式で現在の設定を表示（nはDCE by DTE、mはDTE by DCEの値を示す） AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+WS46=<n>※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=12：GSMネットワーク　　n=22：3Gネットワーク（FOMA） n=25：GSMおよび3Gネットワーク(FOMA)（お買い上げ時） AT+WS46?：現在の設定を表示　　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT¥S	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・(中略)・・・ S104=001 OK	
AT¥V<n>※1	接続時の拡張リザルトコードの使用を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
AT¥V0 OK	
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。
+++(非表示) OK	

※1　&WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2　&FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3　&Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

◆切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

◆エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	ドコモUIMカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（ドコモUIMカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

◆ATコマンドの補足説明

- ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。
- お買い上げ時、cid1～4には次のように登録されています。
  cid1：mopera.ne.jp（接続先mopera、PPP接続）
  cid2：mopera.net（接続先mopera U、PPP接続）
  cid3：mopera.net（接続先mopera U、IP接続）
  cid4：mpr.ex-pkt.net（接続先mopera U、PPP接続、128K通信）
- ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または5,760
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または7,232
  ※ ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最大通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「5,760」および「7,232」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

- **実行例**
  - 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
    AT+CGEQMIN=5↵
    OK
  - 上り5,760kbps、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=6の場合）
    AT+CGEQMIN=6,,5760,7232↵
    OK
  - 上り5,760kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=7の場合）
    AT+CGEQMIN=7,,5760↵
    OK
  - 上りすべての速度、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=8の場合）
    AT+CGEQMIN=8,,,7232↵
    OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=<cid>：指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［<cid>］
- **パラメータ説明**
  上り64～5,760kbps、下り64～7,232kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各<cid>にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  <cid>：1～10
- **実行例**
  （<cid>=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=<cid>：指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

◆リザルトコード

- ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P30

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・ AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

・ AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルやBluetooth機能で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　CONNECT
数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　1

ATX1が設定されているとき

・ ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
　接続完了時に、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>」の書式で表示します。
　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1 21

- ATX1、AT￥V1が設定されている場合※1
  接続完了時に、次の書式で表示します。
  「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度><通信プロトコル><接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>」※2
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/5760/7232
  （mopera.ne.jpに、上り最大5,760kbps、下り最大7,232kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　1 21 5
  ※1 ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。
  ※2 AT￥V1が設定されている場合、<接続先APN>以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰

区点1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			